

● RemoteView ASP Enterprise User Guide

RemoteView ASP Enterpriseユーザーガイド

Version 4.4.1

2018.5

お知らせ

Copyright © 2001~2018 RSUPPORT Co., Ltd. All Rights Reserved

本マニュアルに記載されている事柄は、製品の性能向上または機能改善などにより、将来予告なしに変更する場合があります。

RSUPPORT CO., Ltd.は、本マニュアルで説明した特殊用途以外に、市場性及び適合性などに対してどのような保証もいたしません。

RSUPPORT CO., Ltd.は、本マニュアルに含まれた誤り、またはこの資料の供給や遂行または使用と関連して直接、間接、偶然、または必然的に発生した損害に対して、どのような責任も負いかねますのでご了承ください。

本マニュアルに対する著作権と知的所有権はRSUPPORT CO., Ltd.が所有し、この権利は国内の著作権法と国際著作権条約によって保護されています。したがってRSUPPORT CO., Ltd.の事前書面同意なしに、本マニュアルの一部、あるいは全体の内容を無断にコピー、複製、転載することは著作権法に抵触します。

Windows Server 2008/ 7/ Server 2012/ 8/ 8.1/ 10/Server 2016/ macOS/linuxなどは他社所有の登録商標であり、著作権の保護を受けています。その他、本マニュアルに記載された他社所有の登録商標及び著作権、保護を受けている用語は、単に引用のためだけに使用されています。

本マニュアルのマークについて






利用上の注意事項です。
必ず指示に従ってください。













利用上の参考になる内容が
記載されています。

目次

1. 用語説明	7
2. 本マニュアルについて	8
3. RemoteView紹介	9
3.1 RemoteView とは?	9
3.2 サービスご利用のための使用環境	9
3.3 RemoteView ご利用の流れ	11
3.4 プラグインのインストール	11
3.4.1 ActiveX.....	12
3.4.2 RemoteViewランチャー	13
3.4.3 Simpleランチャー	14
4. RemoteView Agentインストールと削除	16
4.1 RemoteView Agent をインストールする	16
4.1.1 遠隔地PCでAgentを直接インストールする.....	16
4.1.2 Agent EXEファイルで遠隔地PCにインストールする	19
4.2 RemoteView Agent を削除する	21
5. 遠隔地PCを管理・制御する	23
5.1 遠隔地 PC を管理する.....	23
5.1.1 遠隔地PCを追加する (①  /③)	24
5.1.2 グループを生成する (①  /③)	24
5.1.3 お気に入り进行管理する	24
5.1.4 PCやグループを移動させる (①  /②)	25
5.1.5 遠隔地PCを削除する (①  /②)	25
5.1.6 接続アカウントを変更する (②)	26
5.1.7 権限割り当てユーザー情報を確認する	26
5.1.8 登録情報を確認・変更する (①  /②)	26
5.1.9 Excelファイルでエクスポートする (① )	27
5.1.10 WOLを使用するPCを追加する (① )	27
5.1.11 リストの表示方式を変更する	27

5.2	遠隔地 PC をコントロールする	29
5.2.1	遠隔地PCの接続状態を更新する	29
5.2.2	遠隔地PCを遠隔制御する	30
5.2.3	遠隔でファイルを送受信する	30
5.2.4	vPro機能で遠隔地PCの電源を管理する	31
5.2.5	WOLで電源を起動する	34
5.2.6	遠隔地PCを制御する各種ツール	35
5.3	遠隔地 PC の画面状況を確認する	39
5.4	ユーザーを管理する	42
5.4.1	更新 	43
5.4.2	マネージャーを新規追加する (1  / 3)	43
5.4.3	ユーザーを新規追加する (1  / 3)	43
5.4.4	ユーザーをお気に入り登録する (1  / 3)	44
5.4.5	ユーザーを他のお気に入りに移動させる (1 / 3)	44
5.4.6	権限を割り当てる (1  / 3)	45
5.4.7	ユーザーを削除する (1  / 3)	49
5.4.8	ユーザーの登録情報を管理する (1  / 2)	49
5.4.9	Excelファイルでエクスポートする (1 )	50
5.4.10	Excelファイルで一括登録する (1 )	50
5.4.11	リストの表示方式を変更する	51
5.5	組織を管理する OPTION 機能	52
5.5.1	画面を更新する 	53
5.5.2	マネージャーを新規追加する (1  / 3)	53
5.5.3	ユーザーを新規追加する (1  / 3)	53
5.5.4	ユーザーグループを新規追加する(1 )	53
5.5.5	ユーザー、グループを他グループに移動させる (1  / 2)	53
5.5.6	ユーザー・ユーザーグループを削除する (1  / 3)	54
5.5.7	登録情報を管理する	54
5.5.8	リストの表示方式を変更する	55
5.6	使用状況を確認する	56
5.7	環境設定を行う	58
5.7.1	共通情報	59

5.7.2	個別情報.....	64
5.7.3	ログイン管理.....	65
5.7.4	ライセンス情報.....	66
5.7.5	製品情報.....	66
6.	遠隔地PCに接続する	67
6.1	ビューアメニュー	68
6.1.1	ホーム 	68
6.1.2	制御 	72
6.1.3	描画 	73
6.1.4	画面 	74
6.1.5	ツール 	77
6.1.6	追加機能 	81
6.2	遠隔制御中の遠隔地 PC 画面	82
6.2.1	遠隔地PCから機能を使う	82
6.3	ステータスバー	83
7.	認証/セキュリティオプション.....	85
7.1	2段階認証(OTP)を使用する 	85
7.1.1	ユーザーに認証キーを発行する	85
7.1.2	Google認証システムアプリに認証キーを登録する	87
7.1.3	2段階認証(OTP)でRemoteViewにログインする	88
7.2	遠隔地 PC 制御同意 	88
7.3	遠隔地 PC への接続認証 	89
7.3.1	Agent IDとパスワード入力方式	89
7.3.2	2段階認証(OTP)方式	89
7.3.3	Windows Logon方式.....	89
7.4	遠隔地 PC 実行制限設定 (Windows) 	90
7.4.1	遠隔地PCプロセス実行制限設定	90
7.4.2	遠隔地PCのサービス停止/再開設定	91
8.	その他	93
8.1	ユーザー権限	93
8.1.1	各権限別にできること	93

8.1.2 ユーザー別操作権限	93
8.2 遠隔プリンターを使用する (macOS 非対応)	96
8.2.1 遠隔プリンターをインストールする	96
8.2.2 遠隔プリンターで印刷する	97
8.2.3 遠隔プリンターを削除する	98
8.3 PC コンソールアプリケーションを利用してアクセスする	98
8.4 システムトレイの定義と Agent アイコン 	99

1. 用語説明

用語	説明
管理者	全ての権限を持つユーザー
マネージャー	管理者から権限を与えられたグループに対する管理権限を持つユーザー 「組織管理」オプションを使用する場合 グループ担当マネージャー：ユーザーグループの担当者 グループ非担当マネージャー：ユーザーグループに属する担当以外のマネージャー 詳細は「8.1.2 ユーザー別操作権限」を参照 OPTION 機能
ユーザー	管理者またはマネージャーによって生成されたRemoteViewを利用できるユーザー
ユーザーページ	ユーザーおよび管理者がサービスを利用する際に接続するウェブページ
ローカルPC	遠隔地PCの操作のために管理者が使用するPC
遠隔地PC	ユーザーが遠隔で操作するPC
セッション	ユーザーPCと遠隔地PC間の接続状態
会社ID	Enterpriseライセンスユーザーがユーザーページに接続するためのアカウント
ユーザID	RemoteViewユーザーページに接続するためのログインID
Agentアカウント	ユーザーが遠隔地パソコンに接続する際に使用するアカウント
表示名	Agentのインストール時に登録された遠隔地パソコン名
P2P	ローカルPCと遠隔地PCが中継サーバを通さずダイレクトに接続される方式
ゲートウェイ	ローカルPCと遠隔地PCがゲートウェイサーバを利用して接続される方式
Agent	遠隔地PCにインストールするRemoteViewのプログラム
ビューア	ユーザーページ上で遠隔地PCを操作するために実行されるプログラム
接続案内	遠隔地PCに表示される遠隔操作中のお知らせ画面
ライブビュー	遠隔地PCの画面をモニタリングできる機能
コンソール	ユーザーページを利用せずにRemoteViewのビューアが実行されるプログラム
ライセンス	Standard、Enterpriseの2種類のライセンスがあり、ライセンスバージョンによって提供される機能が異なる。

OPTION 機能

・・・利用するためには別途申請が必要です。

2. 本マニュアルについて

本マニュアルは管理者アカウント、Enterprise Versionを基準に作成されたマニュアルです。

マネージャーと一般ユーザー権限の場合、一部のメニューおよび機能が提供されません。

各ユーザー権限別の機能リストおよび説明に関しては「8.1. ユーザー権限」の表をご参考ください。

3. RemoteView紹介

3.1 RemoteViewとは？

RemoteViewは、遠隔地PCに「Agent」プログラムをインストールすることで、インターネットを利用していつでも、どこでもPCやモバイル端末から遠隔地PCに接続して、簡単かつ安全にリアルタイムで遠隔操作できるサービスです。

3.2 サービスご利用のための使用環境

ユーザーは、ユーザーページまたは専用のPCアプリケーションコンソールを利用し、遠隔地PCを管理することができます。ご利用推奨環境は以下のとおりです。

なお、最新の動作環境については弊社ホームページよりご確認ください。

<Windows>

OS	Windows 2008 Server R1/R2、2012 Server R1/R2、2016 Server、 Windows 7、8、8.1、10
CPU	Pentium 4 2.0 GHz以上
メモリ	512MB以上
ウェブブラウザ	Internet Explorer 10.0～11.0(32bit) Microsoft Edge、Firefox35以上、Chrome40以上
ネットワーク	インターネット利用可能な環境
ファイアウォール	Out Bound 80(http) / 443(https) Port Open

<macOS>

OS	macOS 10.7 ~ 10.13.x
CPU	Intel基盤のCPU
メモリ	512MB以上
ウェブブラウザ	Safari7.0以上、FireFox35以上、Chrome40以上
ネットワーク	インターネット利用可能な環境
ファイアウォール	Out Bound 80(http) / 443(https) Port Open

<Linux> (Agent環境のみ)

OS	Cent OS 5.7~6.8 (32bit) Redhat OS 5.7 ~ 6.8 (32bit)
データベース	512MB 以上
CPU	1GHz 以上
メモリ	1GB 以上
ウェブブラウザ	FireFox
ネットワーク	インターネット利用可能な環境
ファイアウォール	OutBound 80(http) / 443(https) Port Open

※X-Window等のGUI制御は未対応です。(CUIモード対応)

<Mobile - Android> (専用ビューアアプリ)

OS	Android 4.0~ 7.0.x
CPU	1GHz 以上
保存容量	20MB 以上
解像度	480 x 800 以上
ネットワーク	3G 以上、Wi-Fi対応

<Mobile - iOS> (専用ビューアアプリ)

OS	iOS 8.0 ~ 11.3.x
保存容量	30MB 以上
ネットワーク	3G 以上、Wi-Fi対応



最新の動作環境及び制限事項は

ホームページ(<https://content.rview.com/ja/support/operating-environment/>)をご確認ください。

3.3 RemoteViewご利用の流れ

- ① 遠隔地PCからRemoteViewサービスサイトにログインします。

(会社ID、ユーザーID、パスワードを入力)

接続URL : <https://biz.rview.com/> 、 <https://www.rview.com/>

ログイン後、ブラウザの「戻る」ボタンをクリックしてもログイン情報が表示されない場合、ブラウザの更新ボタンをクリックすることで、ログイン情報ページが表示されます。

- ② 自動的にプラグイン、モジュール有無を確認し、プラグイン、モジュールがインストールされていない場合は、インストールする為のポップアップ画面が表示されます。



RemoteViewサービスはウェブ基盤で利用できるように設計されています。

Webブラウザだけで使用可能な機能は限られており、遠隔制御など、様々な機能を実装するためにはモジュールとしてダウンロードされたアプリケーションが必要です。

ブラウザ上ではアプリケーションを認識、呼び出すことができないためプラグインを利用して処理を行います。

- ③ 遠隔制御を行うためのAgentを選択し、Agent IDとパスワードを入力し接続します。

: プラグインを経由してモジュールを呼び出し、遠隔制御が開始されます。

3.4 プラグインのインストール

ブラウザによって使用可能なプラグインは異なります。ブラウザ別で使用可能なプラグイン情報は以下通りです。

- **Internet Explorer の場合 : ActiveX もしくは Simple ランチャー**

Internet ExplorerでSimpleランチャーを使用するためには別途申請が必要です。

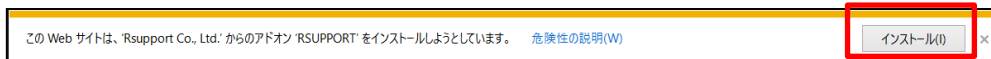
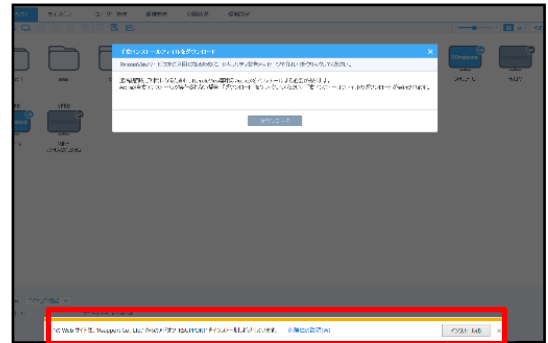
- **その他のブラウザの場合 : RemoteView ランチャー・Simple ランチャー**

RemoteViewの「環境設定」>「個人オプション設定」>「ランチャー方式設定」でご利用のランチャーを選択することができます。

※RemoteViewランチャーインストール後はログインするたびにプラグインのアップデートチェックが実行されます。タブ画面の移動はせず「パソコンリスト」画面上で全てのアップデートが終了後にAgentの制御を行ってください。

3.4.1 ActiveX

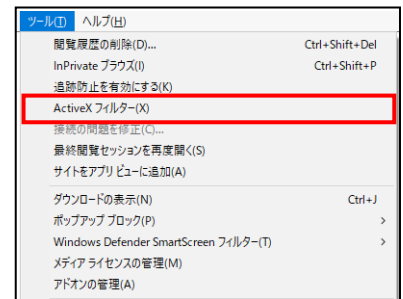
画面下に表示された「インストール」をクリックします。
画面上に「ダウンロード」も表示されますが、「インストール」から行わないとブラウザバージョンによってダウンロードを再度要求される場合があります。



※ブラウザバージョンやOSによってActiveXフィルターが有効になっている場合があります。その場合ActiveXフィルターを外す必要があります。

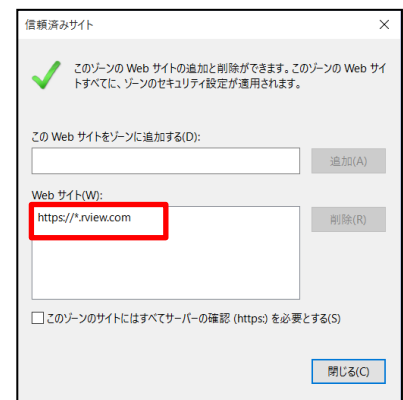
設定箇所 : Internet Explorer > ツール

(ツールが表示場合Altキーを押すと表示されます。)



また、ブラウザのセキュリティ設定によってプラグインの動作が制限される場合があります。

信頼済みサイトに *.rview.com を登録します。(ツール > インターネットオプション > セキュリティ > 信頼済みサイト)



※Microsoft社はActiveXが持つ権限の危険性、互換性を理由でOSやInternet Explorer上で制約を設け、ActiveXの廃止を促しています。弊社の取り組みとしてもActiveXに対する新規開発は行わない方針で、今後ActiveXを完全廃止する予定です。

3.4.2 RemoteViewランチャー

RemoteViewランチャーをインストールします。

- ① ログイン後、RemoteViewランチャーを検索し、存在しない場合ランチャーダウンロードが実行されます

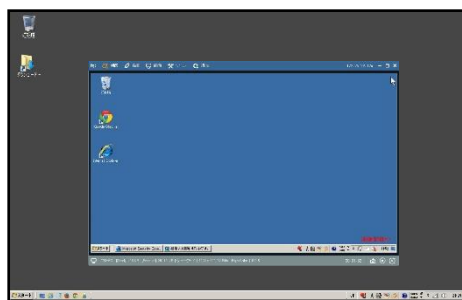


- ② 遠隔地PCでAgentをインストールします。

詳細は「4.1.RemoteView Agentをインストールする」を参照



- ③ RemoteViewで遠隔地PCを管理・制御します。



※RemoteViewランチャーはlocalhost通信を処理のための媒介として使用しています。プロキシサーバ環境下で使用する場合、localhost通信をプロキシサーバを通さないように設定する必要があります。



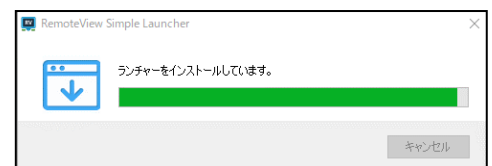
3.4.3 Simpleランチャー

- ① 初回ログインすると、Simpleランチャーをインストールの画面が表示されます。

ログイン後、Simpleランチャー初回利用時は表示されるポップアップウィンドウから「Simple Launcherをダウンロード」をクリックします。



- ② ダウンロードファイルを実行し、インストールを開始します。（インストール作業が完了しますとポップアップが自動的に消えます。）



- ③ インストールが終わりましたら、パソコンリストから操作を行います。

例：PC追加、遠隔制御、遠隔エクスプローラー、制御ツール、削除 など

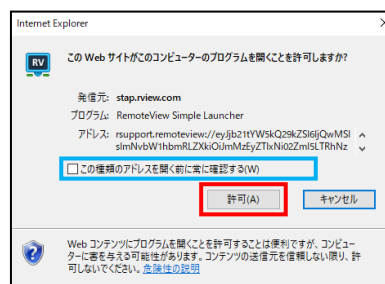
- ④ ブラウザからSimpleランチャー実行案内が表示されます。

案内に沿って、操作を行ってください。

(ブラウザの更新によって表示される内容も変更される場合があります。)

【Internet Explorerの場合】

チェックボックスにチェックを外し、「許可」を選択します。



【Google Chromeの場合】

チェックボックスにチェックを入れ、「RemoteView Simple Launcherを開く」を選択します。



【Microsoft Edgeの場合】

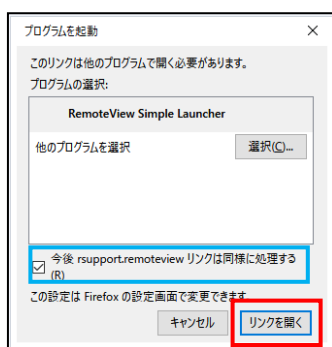
「はい」を選択します。



【Firefoxの場合】

チェックボックスにチェックを入れ、「リンクを開く」を選択します。

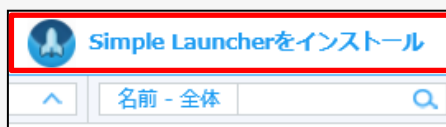
※「他のプログラムを選択」変更をしないでください。



Simpleランチャー利用上の注意点

Simpleランチャーをインストールする際、ご利用のブラウザにランチャーの情報がCookie情報として登録されます。SimpleランチャーがインストールされていてもCookie情報の削除、利用するブラウザの変更によって、再度インストールを求められる場合があります。

Simpleランチャーをアンインストールしてもブラウザの記録されたCookie情報は削除されないため、再度インストールを求められない場合があります。この場合手動でインストールを行います。



- ランチャー実行を拒否した場合、実行されているように見えても遠隔制御を行うことができません。



※ランチャー動作を拒否した場合拒否した時間から15秒間同じ操作のリクエストを行うことができません。



4. RemoteView Agentインストールと削除

4.1 RemoteView Agentをインストールする

RemoteViewサービスを利用するためには、遠隔地PCごとにAgentをインストールする必要があります。

Agentをインストールするためには、遠隔地PCで直接Agentをインストールする方法と、管理者、マネージャーが予めアカウントを指定して生成したファイルを遠隔地PCで実行し、インストールする方法の2つの方法があります。

ご利用の環境に合わせた方式でAgentをインストールすることをおすすめします。

登録されたAgent(遠隔地PC)は、パソコンリストから確認することができます。



インストール時、インストール先のフォルダーには最初に含まれている以外のファイルを格納しないでください。

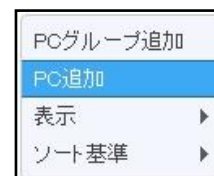
4.1.1 遠隔地PCでAgentを直接インストールする

① 「PC追加」をクリックします。以下のいずれかの方法で「PC追加」をクリックすることができます。

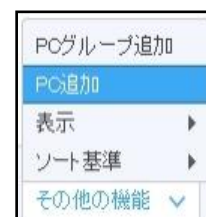
- パソコンリストページのツールバーにある「PC追加」アイコンをクリック



- パソコンリストの空いている所でマウスを右クリックし、「PC追加」メニューを選択



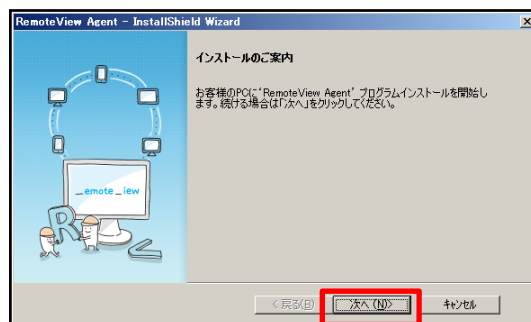
- 画面下メニューの「その他の機能」をクリックし、「PC追加」メニューを選択



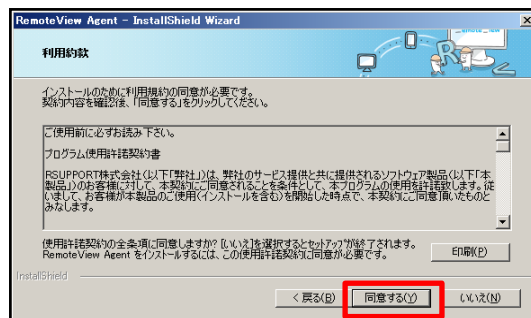
※Windows Vista以上をご利用の場合、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示される場合があります。「はい」をクリックし、許可してください。



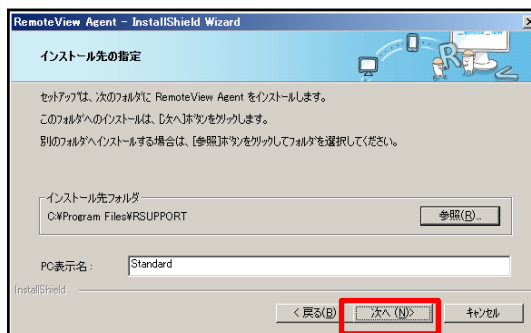
② インストール開始画面が表示されます。「次へ」をクリックします。



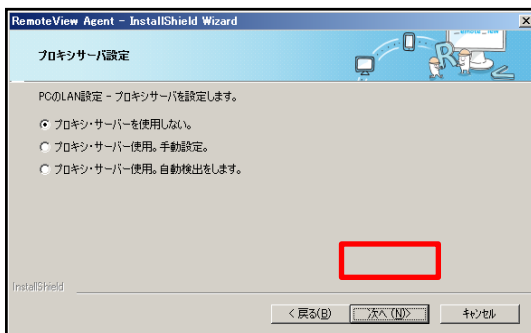
③ 利用約款の内容を確認後、「同意する」をクリックします。



④ Agentインストール先のフォルダー選択およびPC表示名を入力し「次へ」をクリックします。
※デフォルトでシステムにPC名として設定されている名前が表示されます。

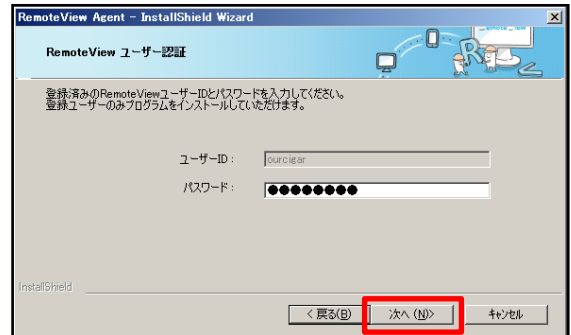


⑤ プロキシサーバーを使用する環境の場合、その環境に合うオプションを選択し、「次へ」をクリックします。
プロキシサーバー情報はネットワーク管理者にお問い合わせください。

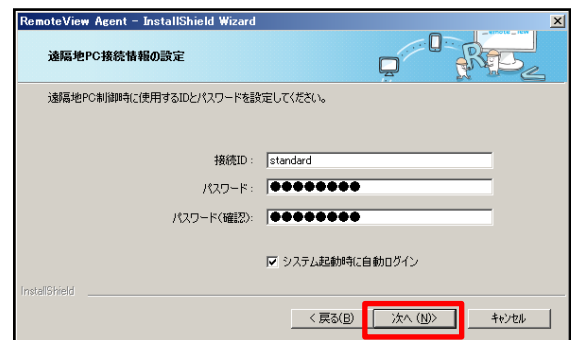


※プロキシサーバーを使用する環境の場合、インストール中にプロキシ選択オプションでユーザー環境に合うオプションを選択後、インストールを進めます。

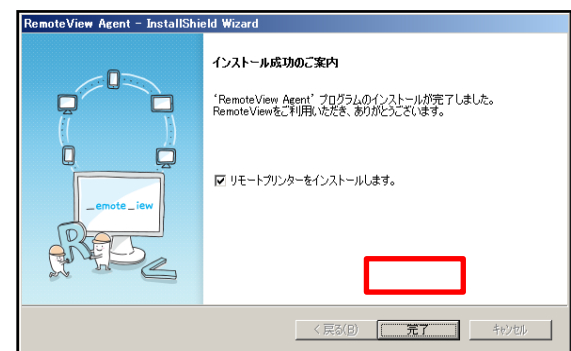
- ⑥ ユーザーページのログインアカウントのパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。



- ⑦ Agentに接続する際に使用するAgent接続アカウントを入力し、「次へ」をクリックします。
(登録後、遠隔地PCに接続する際に必要な情報なので、必ず控えておいてください。)



- ⑧ 「完了」をクリックします。
※デフォルトで遠隔プリンターのインストールチェックボックスにチェックが入っています。インストールをしない場合はチェックを外してください。
(詳細は「[8.2.遠隔プリンターを使用する](#)」参照)




- ⑨ Agentのインストール(遠隔地PCの登録)が完了すると、アップデート後に遠隔地PCの右下システムトレイにRemoteView Agentのアイコンが表示されます。
※Agentがログインできなかった場合は  Agentでマウス右クリックし、ログインもしくは再起動を行ってください。



4.1.2 Agent EXEファイルで遠隔地PCにインストールする

ユーザーにAgent実行ファイルまたは、ファイルダウンロードURLをメールなどで送るだけで、簡単にAgentをインストールすることができます。

- ① パソコンリストページのツールバーにある「インストールファイル生成」アイコンをクリックすると、Agent EXE生成ウィンドウが表示されます。
- ② インストール方式を選択し、セキュリティ対策のためインストーラ有効期限を設定します。
(オンラインの場合はここでアカウント情報も設定します。)



Agent EXE生成

Agentのインストールファイルを作成します。
インストールファイルをダウンロードして伝達するか、またはダウンロードリンクで伝達することができます。

インストール方式 オンライン オフライン

接続アカウント設定

グループ名 日本法人

アクセスID*

パスワード*

パスワード確認*

接続権限設定

インストーラ有効期限*

プロキシサーバの設定 使用しない 手動設定 自動設定

プロキシサーバ*

プロキシポート*

プロキシID

プロキシパスワード

Agent EXE生成 閉じる

<オンライン>



Agent EXE生成

Agentのインストールファイルを作成します。
インストールファイルをダウンロードして伝達するか、またはダウンロードリンクで伝達することができます。

インストール方式 オンライン オフライン

接続アカウント設定

グループ名 rsupportjapan

Agent有効時のグループ設定

接続権限設定

インストーラ有効期限*

プロキシサーバの設定 使用しない 手動設定 自動設定

プロキシサーバ*

プロキシポート*

プロキシID

プロキシパスワード

Agent EXE生成 閉じる

<オフライン>

<インストール方式>

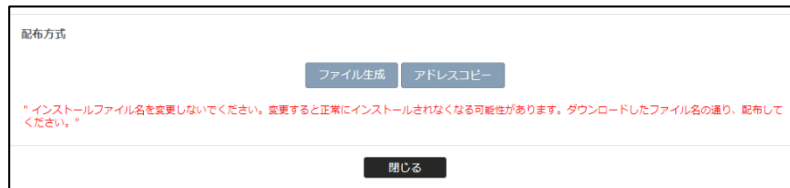
- オンライン：各ユーザーのアカウント情報を、ファイル生成時に設定する方式です。
- オフライン：各ユーザーのアカウント情報を、ファイル実行後に設定する方式です。



オフラインはWindows 環境でのみご利用いただけます。

③ 「Agent EXE生成」 ボタンをクリックします。

次の画面で表示される内容を確認し、「**ファイル生成**」ボタンをクリックします。



④ 生成したファイルを遠隔地PCに送付し、Agentのインストール準備をします。


「**アドレスコピー**」をクリックしてファイルダウンロードURLを取得し、メールでユーザーに送信することもできます。

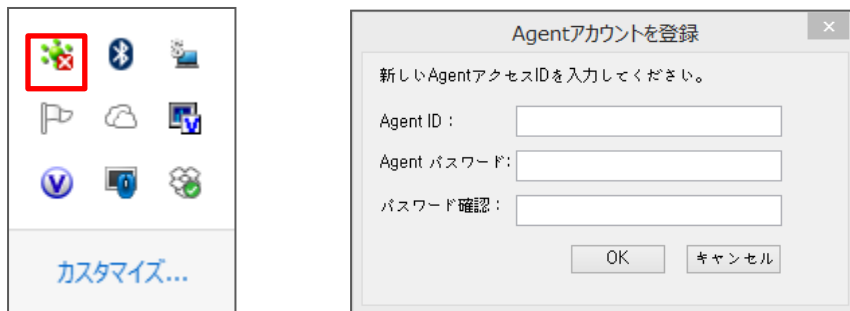
※ファイル名は変更しないでください。変更した場合正常なインストールができません。

⑤ 各ユーザーは、受け取ったインストールファイルを実行します。

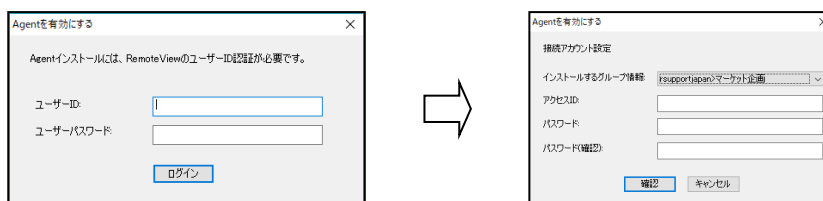
(詳細は「[4.1.1.遠隔地PCでAgentを直接インストールする](#)」②以降を参照)

※インストール方式がオフラインの場合

遠隔地PCの右下システムトレイに表示されたRemoteView Agentのアイコンを右クリックし、Agentアカウントの登録を完了してください。



※Agent有効時のグループ設定を選択した場合、ユーザーIDを入力して、該当ユーザーに割り当てられている任意のAgentグループにAgentを格納してインストールすることができます。



ユーザー情報を入力し、インストールするグループのアクセスアカウント情報を登録します。

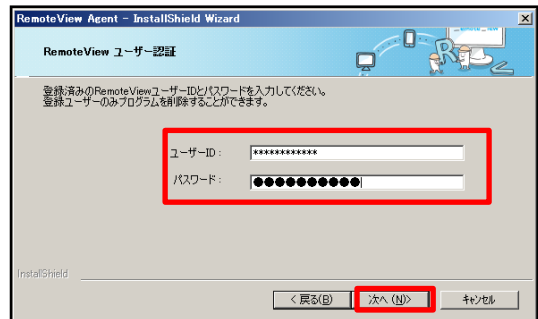
4.2 RemoteView Agentを削除する

遠隔地PCとして登録したPCからAgentを削除します。Agentを削除すると削除した遠隔地PCを遠隔制御することはできなくなります。

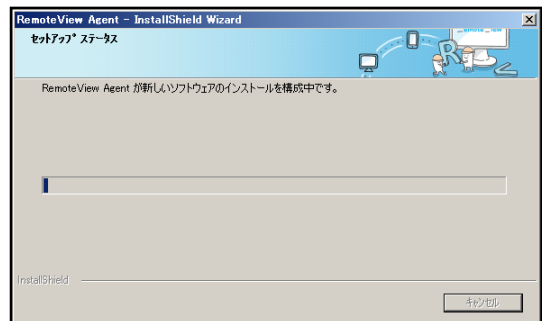


ライセンス期間満了の際には必ずAgentプログラムを削除してください。

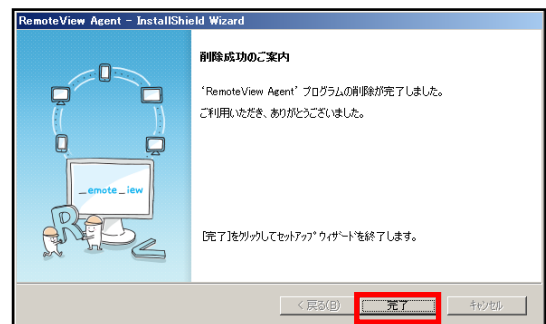
- ① 遠隔地PCからコントロールパネル > 「プログラムと機能」を実行します。
- ② プログラムリストから「RemoteView Agent」を右クリックし、「アンインストール」をクリックします。
- ③ ユーザーページのログインアカウントのパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。



- ④ インストール済みのAgentアンインストールが実行されます。



- ⑤ Agentのアンインストールが完了しました。「完了」をクリックします。



- ⑥ Agentのアンインストールが完了されるとWindows画面右下のシステムトレイからRemoteView Agentアイコンが消えたことが確認できます。



5. 遠隔地PCを管理・制御する

RemoteViewでは、遠隔地PCを管理及び制御、モニタリングすることができます。

また、RemoteViewのユーザー、組織の登録・管理や、使用状況の確認・環境設定を行うこともできます。

5.1 遠隔地PCを管理する

ログイン後、パソコンリストページから、遠隔地PCの追加（削除）、一括管理に便利なグループ化をすることができます。



以下の機能は、ユーザーの利用環境に合わせて、3通りの方法を提供しています。

※各機能に該当する方法は、番号で確認できます。

番号	説明
①	ツールバーにあるアイコンをクリックする方法(タブレットからのご利用時に適合)
②	遠隔地PCまたはグループを選択後、右クリックする方法
③	空いている空間で右クリックする方法
④	遠隔地PCまたはグループを選択時：②と同じ機能
	遠隔地PCまたはグループ未選択時：③と同じ機能

5.1.1 遠隔地PCを追加する (① / ③)

遠隔地PCをローカルPCから遠隔制御するためには、事前に遠隔地PCを追加する必要があります。

※遠隔地PCを登録するためには、事前に遠隔地PCにAgentがインストールされている必要があります。
(詳細は「[4.1. RemoteView Agentをインストールする](#)」を参照)

5.1.2 グループを生成する (① / ③)

遠隔地PCが複数ある場合、遠隔地PCをグループ化することで、より便利に管理することができるようになります。

最上位グループを含め、最大3段階まで生成することができます。



グループには管理者もしくはマネージャーを担当として設定可能です。グループ担当者はグループ内の遠隔地PCへの接続権限を持ちます。

5.1.3 お気に入り进行管理する

● お気に入りに登録する (① / ②)

よく利用するPCに対してお気に入りカテゴリを作成し、最大5つまで作成・管理することができます。
(登録名は1文字以上で作成してください。)



① 登録するカテゴリを選択します。



② 「適用」をクリックします。

● お気に入りから削除する (① / ②)

選択した遠隔地PCをお気に入りリストから削除することができます。

5.1.4 PCやグループを移動させる (① ↔ / ②)

お気に入り間の遠隔地PC移動や、グループ間の遠隔地PCまたはグループ移動をすることができます。

● お気に入り間の遠隔地 PC 移動

お気に入りから移動する遠隔地PCを選択 > 他のお気に入りに移動

※お気に入りが2つ以上存在する必要があります。

① 移動先グループを選択します。

② 「適用」をクリックします。

● グループ間の遠隔地 PC、グループ移動

グループ > 移動する遠隔地PCまたはグループを選択 > 他のグループに移動

① 移動先グループを選択します。

② 「適用」をクリックします。

5.1.5 遠隔地PCを削除する (① 🗑️ / ②)

選択した遠隔地PCまたはグループをリストから削除することができます。

※グループ内に遠隔地PCやサブグループが含まれている場合は、②「一括削除」のみ使用できます。



セキュリティ確認ウィンドウが表示され、パスワードを入力する必要があります。

5.1.6 接続アカウントを変更する (2)

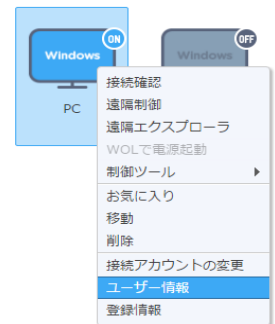
遠隔地PCを遠隔制御する際に入力するユーザー認証情報 (アカウント情報) を変更することができます。



セキュリティ確認ウィンドウが表示され、パスワードを入力する必要があります。

5.1.7 権限割り当てユーザー情報を確認する

遠隔地PCアイコンを右クリックし、「ユーザー情報」を選択すると該当遠隔地PCに対して権限を持つユーザー情報を表示します。



5.1.8 登録情報を確認・変更する (1) / (2)

● 遠隔地 PC の登録情報

遠隔地PCの登録情報確認や別称/アイコン/Agentオプションなどを変更することができます。

Agent情報



Agentオプション

※アイコンはデフォルトとしてPCが設定されています。

● グループの登録情報

グループ名や担当者の割当、登録可能PC数の設定・変更することができます。



5.1.9 Excelファイルでエクスポートする (📄📤)

遠隔地PCやグループ情報をExcelファイルでダウンロードすることができます。

5.1.10 WOLを使用するPCを追加する (🔌📶)

RemoteWOL製品を用いて、電源を起動するPCを追加します。この機能を使用するためには、予めRemoteWOLが登録されている必要があります。

RemoteWOLを使用すると、省エネモードやスリープモードになっているPCを起動させ、遠隔地で利用したり、自宅、会社に到着する前に使用するPCの電源を起動することができるので、業務効率の向上も図ることができます。

RemoteWOLに関する詳細はRemoteWOLの購入先にお問い合わせください。

5.1.11 リストの表示方式を変更する

パソコンリストに表示されている遠隔地PCやグループの表示方式を変更することができます。

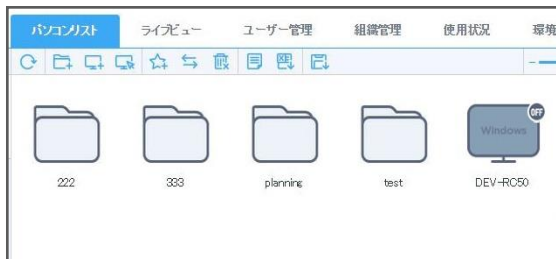


● スライダー (📏)

パソコンリストに表示されている遠隔地PCやグループアイコンの大きさを調整することができます。

● 表示 (①  / ③)

パソコンリストに表示されている遠隔地PCやグループの状況をアイコン・リストで表示することができます。



アイコン表示

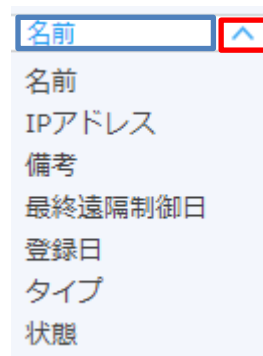


リスト表示

● ソート (①  / ③)

パソコンリストに表示されている遠隔地PCやグループの表示基準を選択することができます。

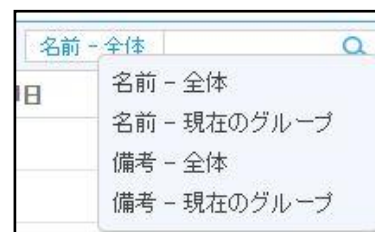
※「名前」の部分をマウスの左ボタンでクリックするとほかの表示基準を選ぶことができます。



※  アイコンをクリックすると昇順/降順を選択することができます。

● 検索 (① )



パソコンリストに表示されている遠隔地PCを選択した表示基準情報で検索することができます。



5.2 遠隔地PCをコントロールする

5.2.1 遠隔地PCの接続状態を更新する

遠隔地PCの電源やAgentのログイン状態によって遠隔地PCアイコンが異なります。

アイコン	接続可否	説明
	遠隔接続可能	Agentがログインされている状態
	遠隔接続不可	遠隔地PCの電源がOFFか、Agentがログアウト状態

遠隔地PCを遠隔制御するためには、遠隔地PCアイコンが有効である必要があります。

遠隔地PCのAgentが正常に動作しているかを確認するために、**遠隔地PCアイコンを右クリックし、「接続確認」**を選択して最新情報を取得します。



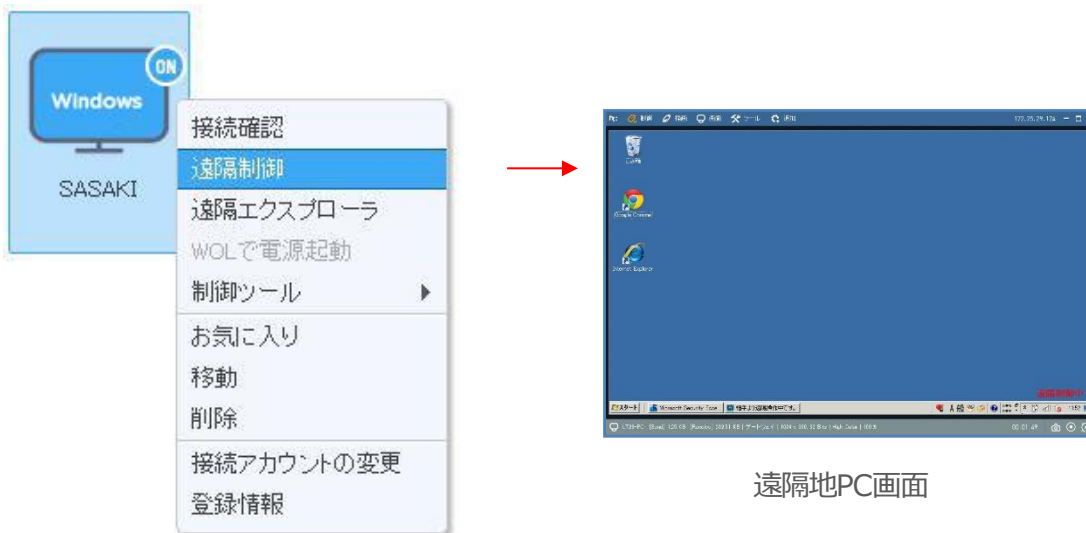
Agentがログイン状態の場合



Agentがログアウト状態の場合

5.2.2 遠隔地PCを遠隔制御する

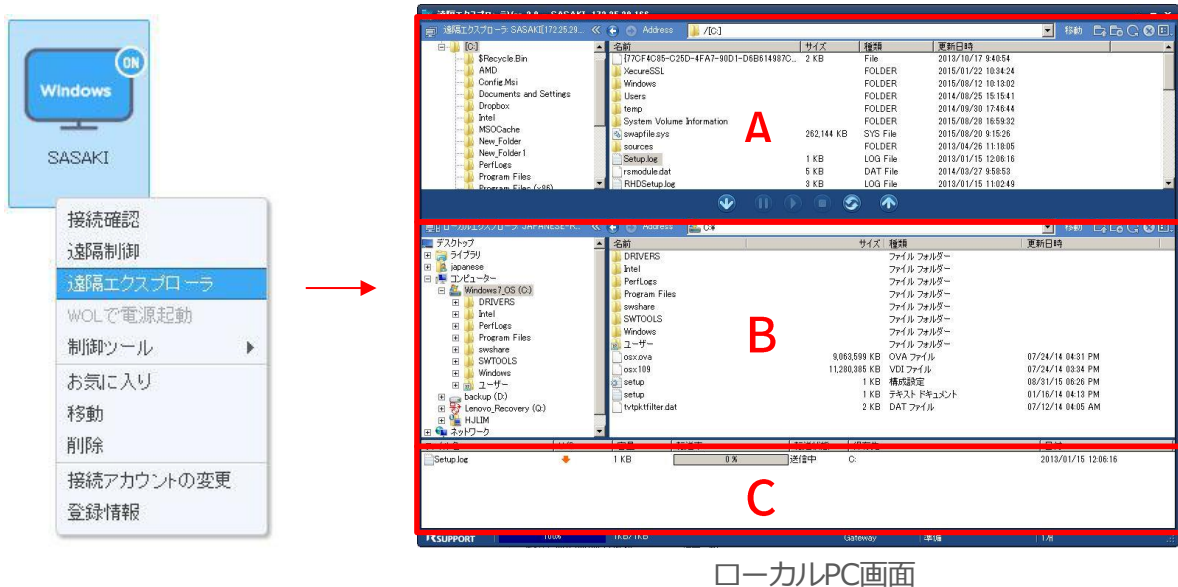
遠隔地PCのAgentが有効であることが確認できたら、ローカルPCから遠隔地PCを手元で操作しているかのように遠隔制御することができます。（詳細は「6.遠隔地PCに接続する」を参照）



5.2.3 遠隔でファイルを送受信する

「遠隔エクスプローラ」機能を実行し、ローカルPCと遠隔地PC間でファイルを送受信することができます。

※TCP通信でファイル転送行っています。



A. 遠隔エクスプローラ：遠隔地PCのファイルを確認/選択できます。

B. ローカルエクスプローラ：ローカルPCのファイルを確認/選択できます。

C. 作業情報：ファイルの送受信リストを確認できます。

5.2.4 vPro機能で遠隔地PCの電源を管理する

遠隔地PCがIntel vPro基盤のPCの場合、vPro機能を利用して電源管理、BIOS変更、遠隔OSインストールなどの作業を遠隔地で実行することができます。



- vPro関連の機能は、Intel vPro基盤のPCの場合にのみメニューが表示されます。
- vPro機能を使用する遠隔地PCは、物理的ネットワークケーブルで接続されている必要があります。(遠隔地PCがワイヤレス・インターネットを使用する場合、vPro機能は使用していただけません。)
- vPro機能を使用する遠隔地PCは、同じネットワークにある他のPCを経由することで、作業を行うことができます。(電源がOFF状態の遠隔地PC(vPro PC)を起動させる場合、同じネットワーク上にある他のPCの電源がON状態である必要があります。)



Intel Management Engine BIOS Extensionの設定

vPro機能を使用するためには、Intel MEBxで以下のような設定が必要です。

- ① vPro PC起動時に[Ctrl]キー+Pを押してMEBxに接続します。
- ② [Intel AMT Configuration] > [Provision Model]に[Small Business]を選択します。
- ③ [Intel AMT Configuration] > [Host Name]にPC名を入力します。
- ④ [Intel AMT Configuration] > [TCP/IP]で[DHCP Mode]をアクティブに設定するか、固定IP情報を設定します。
- ⑤ 終了後、再起動します。



BIOSでvPro機能が[Disable]に設定されている場合、MEBxに接続できません。

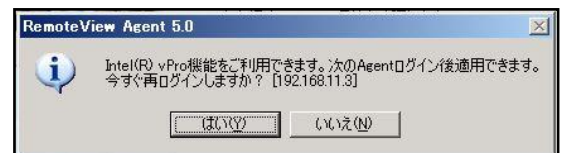
vPro機能は、以下のMEBx環境での使用を推奨します。

	最小	推奨
MEBx Ver.	Intel MEBx v2.X Higher	Intel MEBx v4.X Higher

5.2.4.1 vPro機能対応を確認する

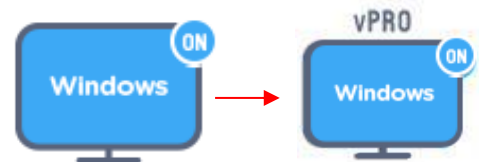
① 遠隔地PCにAgentをインストール後、スタート > すべてのプログラム > RSUPPORT > RemoteView5.0 > Agent > Run RemoteView Agent AMTDiscメニューを選択します。

② 以下のように診断ツールが実行されたら「診断開始」をクリックします。



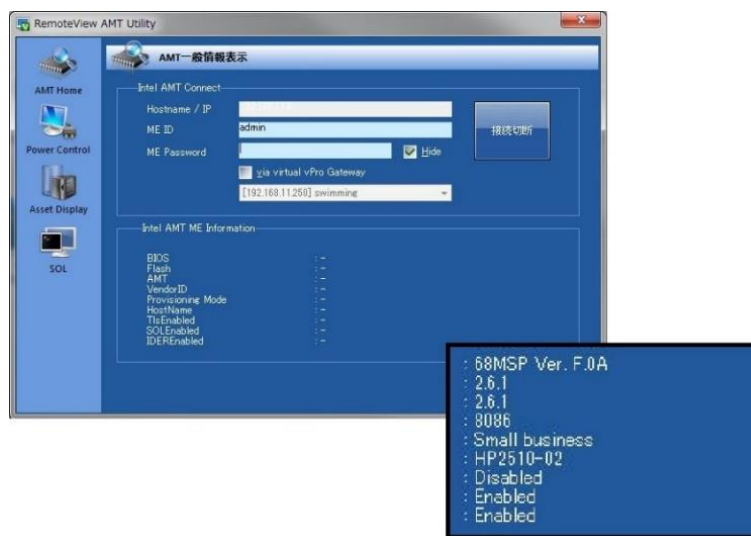
③ 遠隔地PCのAgentに再ログインします。

④ 管理者ページを更新し、遠隔地PCのアイコンにvProマークが表示されたことを確認します。



5.2.4.2 vPro機能を使用する

- ⑤ 登録されているvProの遠隔地PCアイコンでマウス右クリックし、「vPro」メニューを選択します。
- ⑥ Agent接続アカウントを入力し、「確認」をクリックします。
- ⑦ ウィンドウが実行されたら Intel AMT(Active Management Technology)接続アカウントのパスワードを入力し、「接続」をクリックします。
 - ・ Intel AMT接続アカウント：遠隔地PCでvPro機能のインストール時に設定するアカウントです。vProインストール管理者にお問い合わせください。
- ⑧ 接続が完了すると、Intel AMT ME Information部分に遠隔地PC情報が表示されます。



機能	説明
AMT Information	vProに対応するシステムのMEBx設定情報を確認することができます。
Power Control	vProに対応するシステムの電源情報を確認/変更することができます。(Power On、Power Down、Power Reset)
Asset Display	vProに対応するシステムの資産情報を確認することができます。
SOL	<ul style="list-style-type: none"> ・ vProに対応するシステムのBIOS画面を制御することができます。(遠隔地システムの再起動が必要です。) ・ vProに対応するシステムのOSを遠隔でインストール/復旧することができます。(遠隔地システムの再起動が必要です。) ※Gateway方式でのご利用はできません⇒同じネットワーク内で動作します。

5.2.5 WOLで電源を起動する

WOLを利用し、遠隔地あるPCの電源を起動またはOFFにすることができます。省エネモードやスリープモードになっているPCを起動させ、遠隔地で利用したり、自宅、会社に到着する前に使用するPCの電源を起動することができるので、業務効率の向上も図ることができます。

「WOLで電源起動」をクリックすると、起動結果が表示され、遠隔地PCが起動されるまで10分間自動的に接続を確認します。（WOLを使用できない状況の場合は起動されません。）



- Agentインストール済みの遠隔地PCが2台以上で、そのAgentが同じネットワーク帯域上にあり、最低1台以上のPC電源がONになっている必要があります。
→ 弊社のRemoteWOLご利用の場合は、遠隔地PCが1台でも「WOLで電源起動」はご利用可能です。詳しくは下記のURLをご覧ください。
<https://content.rview.com/ja/remotewol/>
- WOL機能はMagicPacket情報が受信できない環境ではご利用いただけません。
その他PCのハードウェアの環境、OS環境によって正常に動作しない場合があります。（WOL機能の対応環境及び動作要件はMicrosoft社の技術情報、各ハードウェアの製造元にご確認ください。）
- AgentPCに複数のネットワークカードを取り入れている場合、間違っているIPアドレス、サブネットマスク、MACアドレスを取り込んでしまう場合があります。（MagicPacketが届かなくなり、複数のネットワークカードの環境では正常に動作しない場合があります。）

5.2.6 遠隔地PCを制御する各種ツール

遠隔地PCに接続せずに、メニューをクリックするだけで簡単に遠隔地PCを制御することができます。

5.2.6.1 システムを終了させる

ログオフ、システム終了、システム再起動の操作をすることができます。

- ログオフ

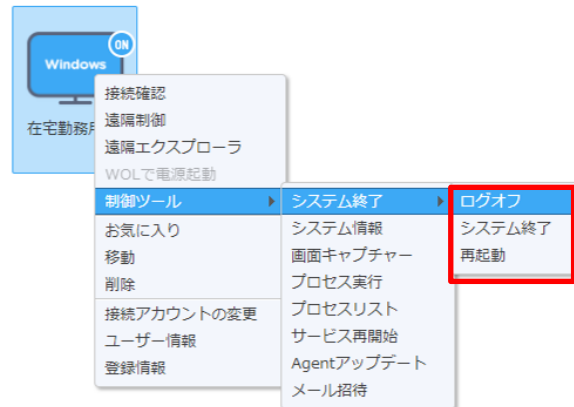
遠隔地PCのシステムをログオフします。

- システム終了

遠隔地PCのシステムを終了します。

- システム再起動

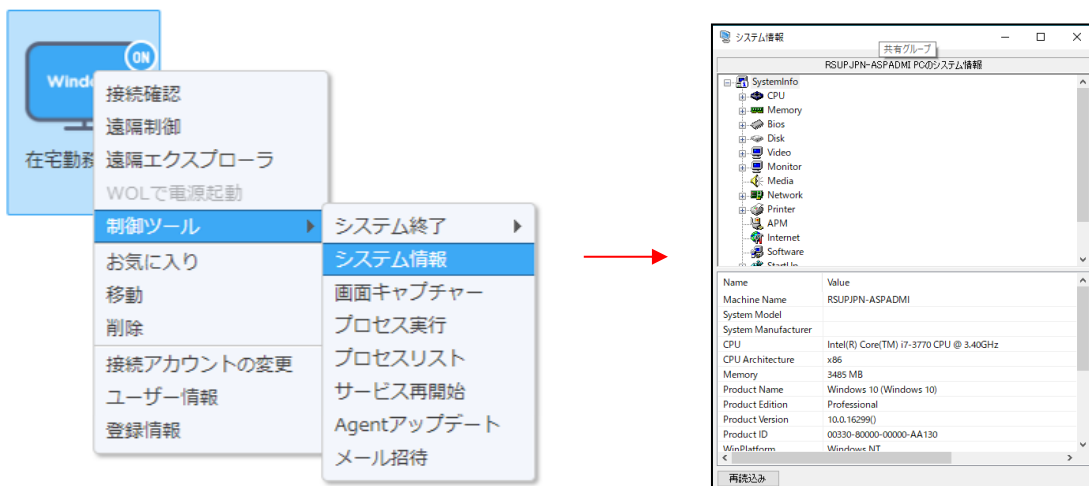
遠隔地PCのシステムを再起動します。



5.2.6.2 システム情報を確認する

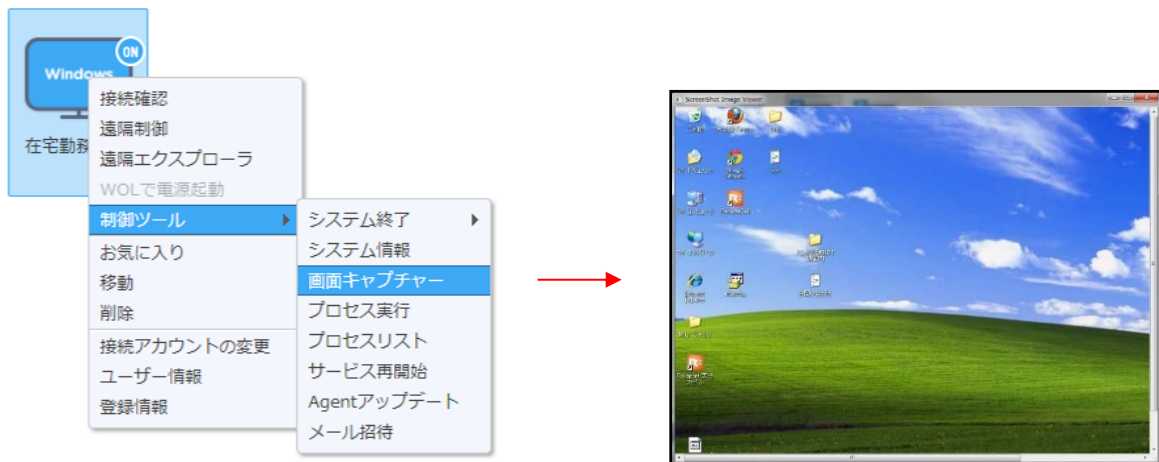
遠隔地PCのシステム情報を確認することができます。

※システム環境によって情報が正しく表示されない場合があります。



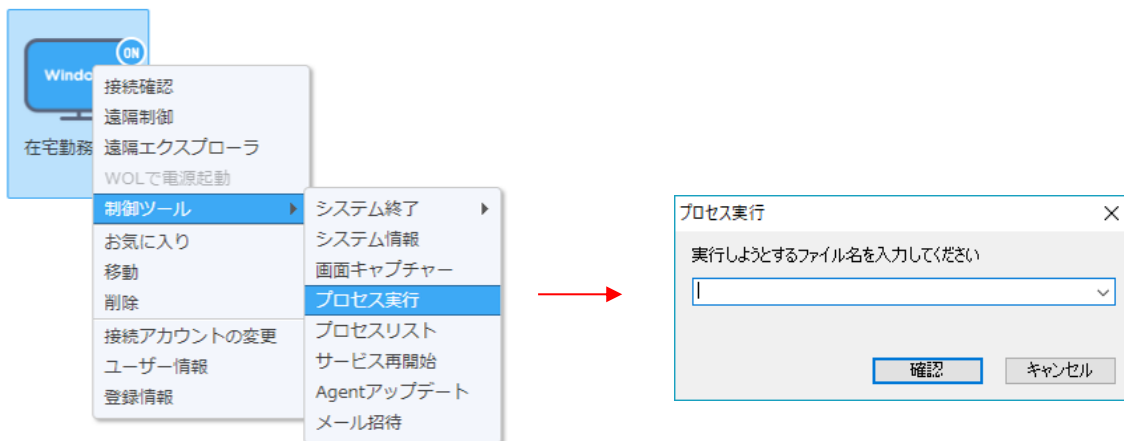
5.2.6.3 画面キャプチャーをする

遠隔地PCで表示されている画面をキャプチャーすることができます。



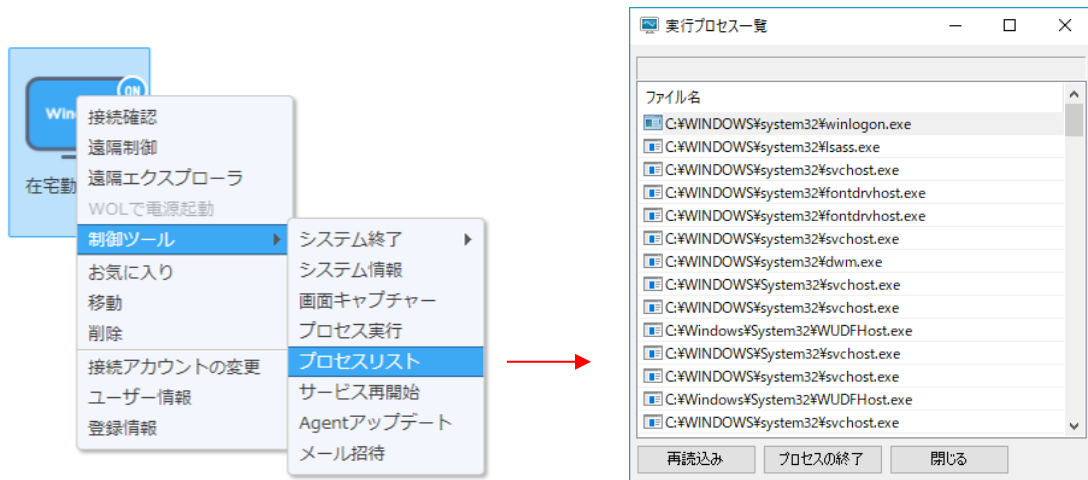
5.2.6.4 プロセスを実行する

遠隔地PCのプロセスを実行することができます。



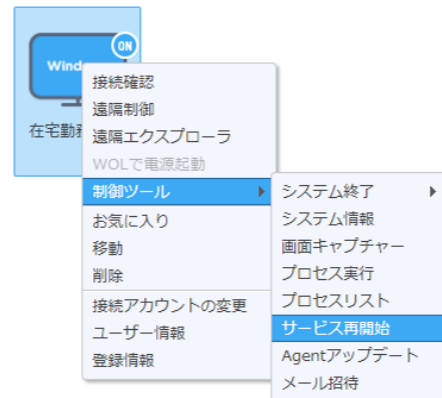
5.2.6.5 実行中のプロセスリストを確認する

遠隔地PCで実行中のプロセスリストを確認することができます。



5.2.6.6 サービスを再開始させる

遠隔地PCのAgentを再開始することができます。



5.2.6.7 Agentをアップデートする

選択した遠隔地PCのAgentを最新にアップデートすることができます。

※アップデート項目がない場合は実行されません。



5.2.6.8 他ユーザーにメールで接続権限を与える

選択した遠隔地PCの管理権限のないユーザー、またはシステムに登録されているワнтаイムユーザーに招待メール(ワнтаイム接続リンク)を送信し、遠隔地PCに接続できるようにワнтаイムの制御権限を与えることができます。

- ① ワнтаイムで接続を許可する遠隔地PCを選択します。
- ② マウスを右クリックし、「制御ツール」の「メール招待」メニューを選択します。



- ③ 招待するユーザー情報および内容を確認入力し、「適用」をクリックします。

※メールリンクをクリックすると遠隔地PCへの制御権限が付与されるため、招待するユーザーのメールに間違いがないか必ず確認して送信してください。



- ④ 招待されたユーザーに右のような招待メールが送信されます。

- ⑤ 招待メールが届いたユーザーはメールの内容を確認します。
メールの「遠隔接続」をクリックすると、ワнтаイムで許可された遠隔地PCに接続します。(遠隔接続リンクは、招待した時間から30分間有効です。)



※招待される側のメールアカウントによって、招待メールが正常に届かない場合があります。その場合、メールがブロックされないように設定をする必要があります。

5.3 遠隔地PCの画面状況を確認する

遠隔地PCの画面状況を以下の「ライブビュー」ページから確認することができます。



以下の機能は、ユーザーがより簡単に使えるよう2通りの方法で同様の機能を提供しています。

番号	説明
①	ツールバーにあるアイコンをクリックする方法(タブレットからのご利用時に適合)
②	遠隔地PCを選択後、右クリックする方法

- **更新** 

ウェブページ画面のデータが更新されます。

- **お気に入り** 

よく利用する遠隔地PCをお気に入りとして登録します。



① 登録するカテゴリーを選択します。



② 「適用」をクリックします。

● 移動 (お気に入り)

お気に入りから、他のお気に入りに移動させます。

※お気に入り間の移動のみ、AgentのPCグループ間移動メニューではありません。



① 移動先のお気に入りを選択します。



② 「適用」をクリックします。

● 削除 (お気に入り)

選択した遠隔地PCをお気に入りリストから削除することができます。

※実際のAgentは削除されません。

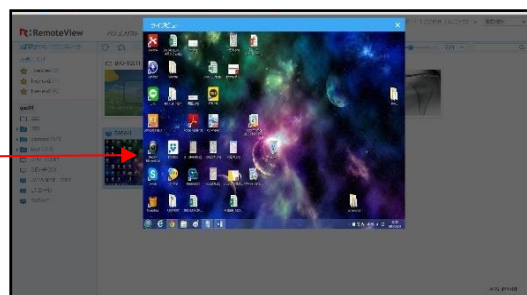
● ズーム

特定の遠隔地PC画面をより大きく見たい時に使用します。

遠隔地PC画面が、ポップアップされるライブビュー画面で表示されます。




ズーム前



ズーム後

ズームの方法には、以下の**3通り**があります。

- 1) Agentがログイン状態の遠隔地PC画面をクリックします。
- 2) Agentがログイン状態の遠隔地PC名をクリックし、 アイコンをクリックします。
- 3) Agentがログイン状態の遠隔地PC画面を右クリックし、「ズーム」を選択します。

- **登録情報** 

「[5.1.8.登録情報を確認・変更する](#)」を参照してください。

- **アイコン表示サイズ**

「[5.1.11 リストの表示方式を変更する](#)」を参照してください。

- **ソート**

ライブビューに表示されている遠隔地PCの表示基準を選択することができます。

※「項目部をマウスクリックすると表示基準を選択することができます。」



※  アイコンをクリックすると、昇順/降順を選択することができます。

また、何も無いところで右クリックし、右のように選択することもできます。

- **検索**



ソート欄で設定した項目でライブビューに表示されている遠隔地PCを検索することができます。

5.4 ユーザーを管理する

「ユーザー管理」ページからユーザーの新規追加や、遠隔地PC、PCグループへ権限を割り当てることができます。

RemoteViewユーザーは、「管理者」「マネージャー」「ユーザー」権限に分かれています。
(権限についての詳細は「8.1. ユーザー権限」を参照)

これにより、1台の遠隔地PCを多数のユーザー（または※ユーザーグループ）が管理したり、1名のユーザーが多数の遠隔地PCを管理することができるようになります。

※ユーザーグループは、組織管理ページで生成する必要があります。（詳細は「5.5.4.ユーザーグループを新規追加する」を参照）







以下の機能は、ユーザーがより簡単に使えるよう4通りの方法を提供しています。

※各機能に該当する方法は、番号で確認できます。

番号	説明
①	ツールバーにあるアイコンをクリックする方法(タブレットからのご利用時に適合)
②	ユーザーを選択後、右クリックする方法
③	空いている空間で右クリックする方法
④	ユーザー選択後：②と同じ機能
	ユーザー未選択：③と同じ機能

● アイコン説明

アイコン	説明
	一般ユーザー
	マネージャー
	使用中止中のユーザー (パスワード5回失敗によるロック、管理者からの設定により使えない状態)
	グループ ※組織管理で生成時に表示

5.4.1 更新

ウェブページ画面のデータが更新されます。

5.4.2 マネージャーを新規追加する (① / ③)

新しいマネージャーアカウントを生成することができます。

生成されたマネージャーアカウントでログインすると、自分が属しているマネージャーとユーザーのみが確認することができます。



5.4.3 ユーザーを新規追加する (① / ③)

新しいユーザーアカウントを生成することができます。
(管理者アカウントまたはマネージャーアカウントのみ)



5.4.4 ユーザーをお気に入り登録する (1☆/3)

特定のユーザー（またはマネージャー）をお気に入りカテゴリを作成し、最大5つまで作成・管理することができます。（登録名は1文字以上で作成してください。）

マネージャーアカウントでログインすると、自分が属しているマネージャーとユーザーを確認することができます。



① 登録するカテゴリを選択します。



② 「適用」をクリックします。

5.4.5 ユーザーを他のお気に入りに移動させる (1/3)

お気に入り間でユーザー（またはマネージャー）を移動させることができます。

※お気に入りが2つ以上存在する必要があります。



① 移動先お気に入りを選択します。



② 「適用」をクリックします。

5.4.6 権限を割り当てる (🔗/🔗)

各遠隔地PCまたはPCグループに対するユーザー権限を個別に与えることができます。

5.4.6.1 ユーザーに遠隔地PCの権限を与える

例) 最上位グループ (qae01) > グループ (planning) > 遠隔地PC (SASAKI) にユーザー (user1) の権限を割り当てる場合

① 最上位グループを選択します。

使用者権限設定

グループを選択すると、Agent 選択が有効になります。
Agent の選択で「選択しない」は、該当グループに権限を割り当てる際に使用されます。

グループ選択 * qae01

Agent 選択 test

名前 user1

権限: プリント 録画 ファイル送信 クリップボード

キャンセル

② グループを選択します。

使用者権限設定

グループを選択すると、Agent 選択が有効になります。
Agent の選択で「選択しない」は、該当グループに権限を割り当てる際に使用されます。

グループ選択 * qae01

Agent 選択 planning

名前 user1

権限: 許可 許可 画面キャプチャ... プリント 録画 ファイル送信 クリップボード

適用 キャンセル

③ 遠隔地PC (Agent) を選択します。

使用者権限設定

グループを選択すると、Agent 選択が有効になります。
Agent の選択で「選択しない」は、該当グループに権限を割り当てる際に使用されます。

グループ選択 * qae01

Agent 選択 SASAKI

名前 user1

権限: プリント 録画 ファイル送信 クリップボード

適用 キャンセル

④ 権限として付与しない項目のチェックを外します。選択完了後、「適用」をクリックします。

※TIP：①「グループ選択」～③「Agent選択」

プルダウンメニューでは登録された全対象から選択することができます。

また選択欄に文字列を入力し対象を絞り込むことができます。

※ファイル転送権限は、設定により「ファイル送信」「ファイル受信」「ファイル送受信」の3通りの表示になります。

5.4.6.2 ユーザーにグループ権限を割り当てる

例) 最上位グループ (qae01) > グループ (planning) に属する全ての遠隔地PCにユーザー (user 1) の権限を割り当てる場合

① 最上位グループを選択します。

② グループを選択します。

③ 権限として付与しない項目のチェックを外します。選択完了後、「適用」をクリックします。

使用者権限設定

グループを選択すると、Agent 選択が有効になります。
Agent の選択で「選択しない」は、該当グループに権限を割り当てる際に使用されます。

グループ選択 * qae01
planning
Agent 選択 選択しない

名前	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
user1	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 画面キャプチ...	<input checked="" type="checkbox"/> プリント	<input checked="" type="checkbox"/> 録画	<input checked="" type="checkbox"/> ファイル送信	<input checked="" type="checkbox"/> クリップボード	[割り当て...

適用 キャンセル



権限設定時に最上段のチェックボックスを利用すると、一括選択・解除をすることができますが、ユーザー権限が「割り当て不可」の場合は一括選択・解除を利用できません。

使用者権限設定

グループを選択すると、Agent 選択が有効になります。
Agent の選択で「選択しない」は、該当グループに権限を割り当てる際に使用されます。

グループ選択 * 入力、項目を選択が可能です。

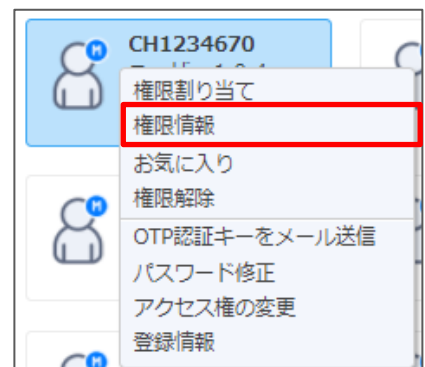
名前	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
manager	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 画面キャプチ...	<input checked="" type="checkbox"/> プリント	<input checked="" type="checkbox"/> 録画	<input checked="" type="checkbox"/> ファイル送信	<input checked="" type="checkbox"/> クリップボード	
test1	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 画面キャプチ...	<input checked="" type="checkbox"/> プリント	<input checked="" type="checkbox"/> 録画	<input checked="" type="checkbox"/> ファイル送信	<input checked="" type="checkbox"/> クリップボード	
test2	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 画面キャプチ...	<input checked="" type="checkbox"/> プリント	<input checked="" type="checkbox"/> 録画	<input checked="" type="checkbox"/> ファイル送信	<input checked="" type="checkbox"/> クリップボード	
test3	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 画面キャプチ...	<input checked="" type="checkbox"/> プリント	<input checked="" type="checkbox"/> 録画	<input checked="" type="checkbox"/> ファイル送信	<input checked="" type="checkbox"/> クリップボード	
test4	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 画面キャプチ...	<input checked="" type="checkbox"/> プリント	<input checked="" type="checkbox"/> 録画	<input checked="" type="checkbox"/> ファイル送信	<input checked="" type="checkbox"/> クリップボード	

適用 キャンセル

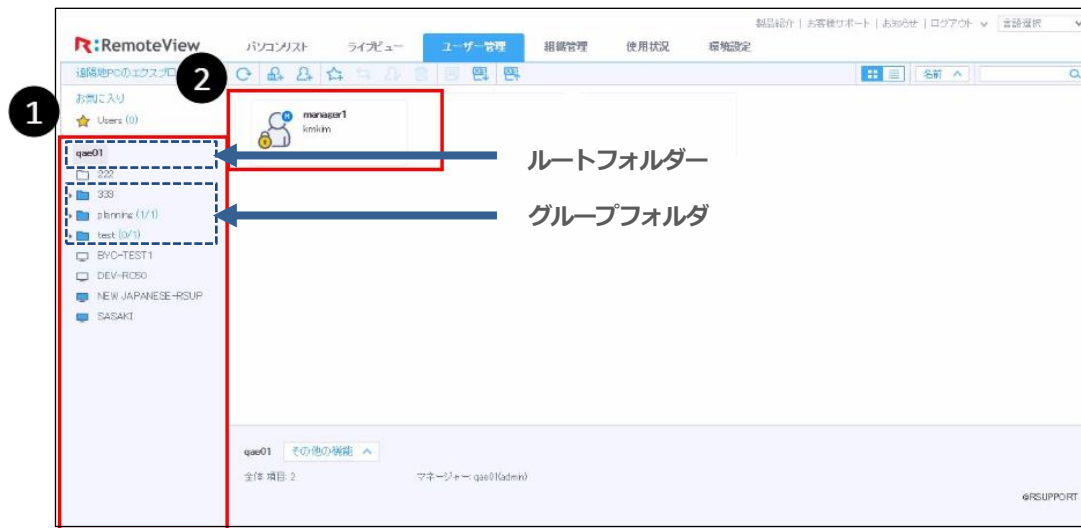
5.4.6.3 権限情報を確認する

ユーザーアイコンを右クリックし、「権限情報」を選択してユーザーの持つ権限情報を確認します。

※管理者のみ利用できる機能です。



5.4.6.4 ユーザーのグループおよび遠隔地PC権限を解除する



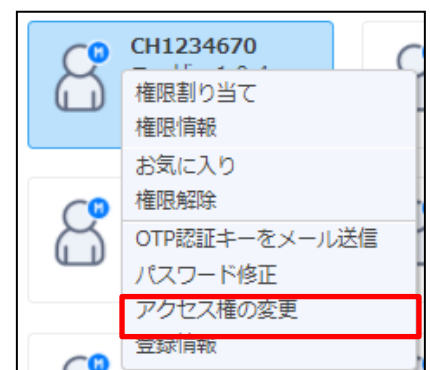
番号	説明
①	グループフォルダーおよび遠隔地PCリストをツリーメニューで表示
②	選択したグループフォルダーおよび遠隔地PCリストを閲覧可能なユーザーを表示

① ①のツリーメニューから権限を解除したいグループフォルダーまたは遠隔地PCを選択します。

② 選択すると、権限が割り当てられているユーザーが②のように表示されます。

③ 表示されたユーザーから、権限を解除したい対象ユーザーを選びます。

④ ユーザーが選択された状態でマウス右クリックし、表示されたメニューから「権限解除」を選択します。



● 権限設定・リスト閲覧仕様

項目	説明
ルートフォルダー	すべてのユーザーが持つデフォルト権限です。 「権限解除」設定は存在しません。
ルートフォルダー直下Agent	「権限解除」設定が可能です。
グループフォルダー	グループフォルダー権限設定により配下の グループAgent権限が設定されます。 「権限解除」設定が可能です。
グループフォルダー直下Agent	「権限解除」設定は存在しません。 (上位フォルダーの権限があると閲覧権限が割り当てられます。)

5.4.7 ユーザーを削除する (① / ③)

ユーザー（またはマネージャー）を削除することができます。（最上位グループ内）

※セキュリティ確認ウィンドウが表示され、パスワードを入力する必要があります。



- ・お気に入り内でユーザーを削除すると、お気に入りリストからのみ削除されます。
- ・グループ内でユーザーを削除すると、該当するグループへの権限のみが削除されます。

5.4.8 ユーザーの登録情報を管理する (① / ②)

ユーザーの登録情報確認や修正、役割、個人情報、アカウント状態、セキュリティなどを変更することができます。

※「アカウント状態」からユーザーアカウントを使用停止させることができます。

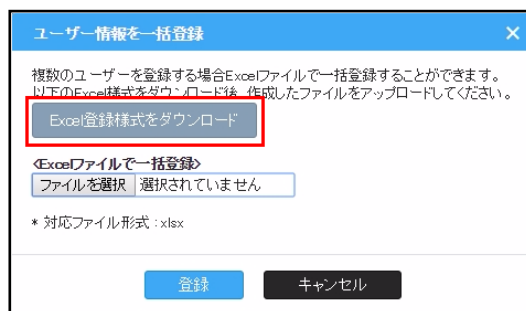
5.4.9 Excelファイルでエクスポートする (①)

マネージャー、ユーザーアカウントのうち、自分が属している内容についての情報をExcelファイルでダウンロードすることができます。

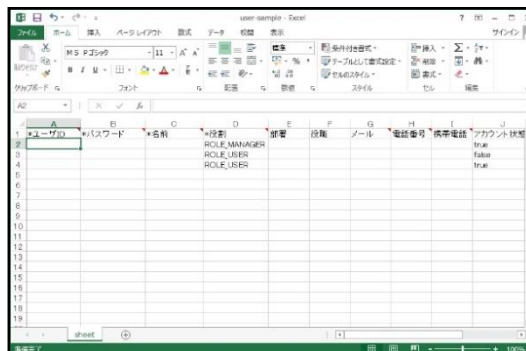
5.4.10 Excelファイルで一括登録する (①)

事前にユーザー情報をExcelに登録し、アップロードすることでユーザーを一括登録することができます。

① 「Excel登録様式をダウンロード」をクリックします。



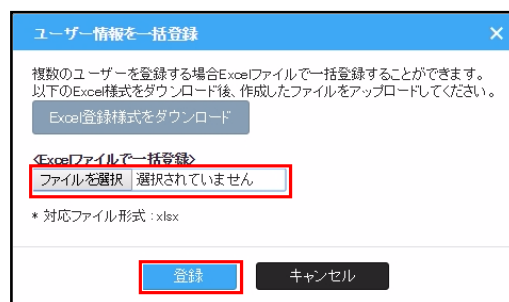
② ダウンロードしたExcelファイルにユーザー情報を登録します。



※登録時必須入力情報

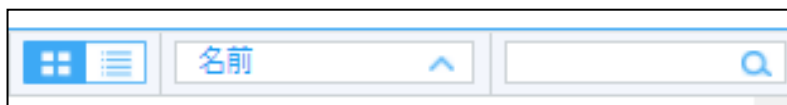
- ・ユーザーID：4～24英小/大文字、数字
- ・パスワード：セキュリティレベル設定に合わせて入力
- ・名前：1～50Byte
(使用不可文字 ¥ / : ? * < > " | & % + ; ' (半角の場合のみ))
- ・役割：マネージャー ⇒ ROLE_MANAGER、ユーザー ⇒ ROLE_USER

③ 作成したファイルをアップロードします。



5.4.11 リストの表示方式を変更する

ユーザー管理リストに表示されているユーザーまたはユーザーグループの表示方式を変更することができます。



- 表示 (①  / ② 


ユーザー管理リストに表示されているユーザーをアイコン・リストで表示することができます。



アイコン表示

ユーザID	名前	部署	役職	備考
japan-branch				
manager1	kmkm			
user1	kmkm			
htani2	sasaki			

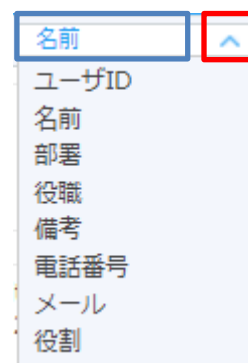
リスト表示

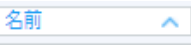
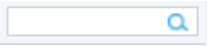
- ソート  (①/②)

ユーザー管理リストの表示基準を選択することができます。

※項目部をマウスクリックすると表示基準を選択することができます。

※  アイコンをクリックすると昇順/降順を選択することができます。



- 検索 (①  

ソート欄の選択項目でユーザー管理リストに表示されているユーザーを検索することができます。

5.5 組織を管理する OPTION 機能

同じ役割のユーザーを1つのグループとしてまとめ、一括で組織として管理することができます。これにより、ユーザー管理ページのユーザーグループが有効になります。

(ユーザー管理ページの詳細は「[5.4. ユーザーを管理する](#)」参照)

グループには管理者もしくはマネージャーを担当として設定可能です。

※ユーザーグループに関する詳細は別紙「[組織管理利用時のユーザー別操作権限](#)」参照

グループ担当マネージャーのみ「使用する」に設定時に使用することができます。

(権限に関する詳細は「[8.1.2.ユーザー別操作権限](#)」参照)



以下の機能は、ユーザーがより簡単に使えるよう3通りの方法を提供しています。

※各機能に該当する方法は、番号で確認できます。

番号	説明
①	ツールバーにあるアイコンをクリックする方法(タブレットからのご利用時に適合)
②	ユーザーグループまたはユーザーを選択後、右クリックする方法 ※ユーザーを選択した場合には「開く」機能は提供されません。
③	空いている空間で右クリックする方法

5.5.1 画面を更新する🔄

ウェブページ画面のデータが更新されます。

5.5.2 マネージャーを新規追加する (①👤/③)

組織管理画面からマネージャーを新規追加することができます。

詳細は「[5.4.2. マネージャーを新規追加する](#)」を参照してください。

5.5.3 ユーザーを新規追加する (①👤/③)

組織管理画面からユーザーを新規追加することができます。

詳細は「[5.4.3. ユーザーを新規追加する](#)」を参照してください。

5.5.4 ユーザーグループを新規追加する(①👤)

同じ役割のユーザーを一括で管理するために、
ユーザーグループを生成します。

最上位グループを含め、最大3段階まで生成することができます。

※ユーザーグループ名は1～24文字、文字の種類の種類は制限はありません。

5.5.5 ユーザー、グループを他グループに移動させる (①↔/②)

ユーザー（またはユーザーグループ）を他のグループに移動させることができます。

① 移動先グループを選択します。

② 「適用」をクリックします。

5.5.6 ユーザー・ユーザーグループを削除する (1 / 3)

ユーザー（またはユーザーグループ）を削除することができます。

※セキュリティ確認ウィンドウが表示され、パスワードを入力する必要があります。

※ 注意 ※

- ・グループ内のユーザーを削除すると、リストだけではなく実際にユーザーが削除されます。
- ・グループ削除時、グループ内にユーザーが存在すると削除することができません。



5.5.7 登録情報を管理する

5.5.7.1 グループの登録情報を管理する

「[組織管理](#)」ページにあるグループアイコンの上で右クリックして登録情報を開くと、登録情報の確認や、グループ名を変更したり、登録されているユーザー数を確認することができます。

※「担当」項目は管理者権限のみ設定できる内容です。マネージャー権限では現れません。

担当に割り当てられたマネージャーアカウント情報が「削除」や「使用しない」に変更された場合、「担当」項目は「無し」に変更する必要があります。

5.5.7.2 ユーザーの登録情報を管理する

ユーザーの登録情報管理の詳細は、「[5.4.8.ユーザーの登録情報を管理する](#)」を参照してください。

5.5.7.3 ユーザーグループの担当を指定する

ユーザーグループに担当マネージャーを指定すると、管理者以外に担当指定したマネージャーからユーザーグループに属するユーザーが見えるようになります。

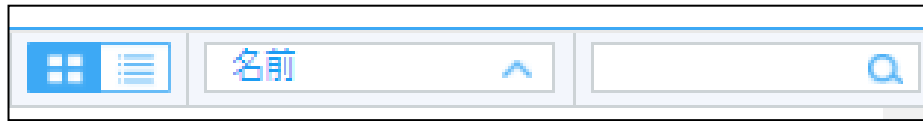
※担当を指定するには、

環境設定 > 共通・セキュリティ設定 > 組織管理のグループ間情報検索制限を「全体使用」と設定します。（デフォルト設定：使用しない）

組織管理のグループ間情報検索制限 全体使用 使用しない

5.5.8 リストの表示方式を変更する

組織管理リストに表示されているユーザーまたはユーザーグループの表示方式を変更することができます。



● 表示 (① / ②)

組織管理リストに表示されているユーザーまたはユーザーグループをアイコン・リストで表示することができます。



アイコン表示



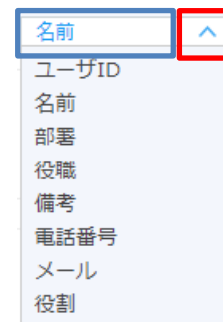
リスト表示

● ソート (① / ②)

組織管理リストの表示基準を選択することができます。

※項目部をマウスクリックすると表示基準を選択することができます。

※  アイコンをクリックすると昇順/降順を切替えることができます。

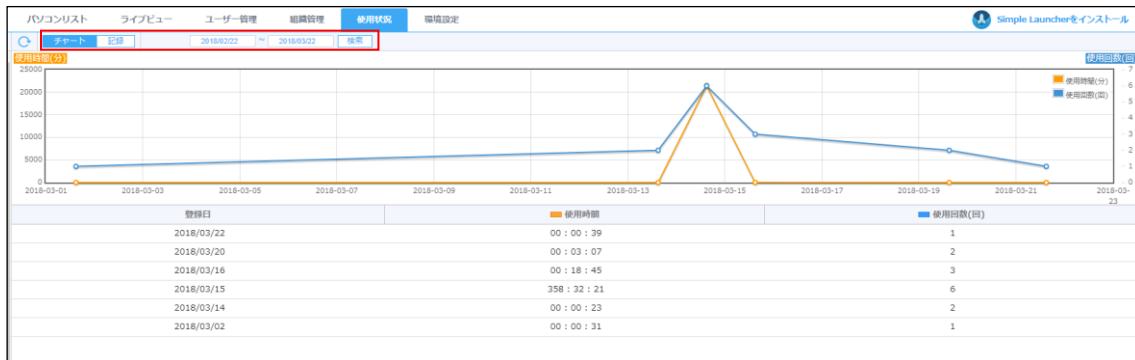


● 検索 (① ②)

ソート欄で設定した項目で組織管理リストに表示されているユーザーを検索することができます。

5.6 使用状況を確認する

「使用状況」ページから各ユーザーや組織のRemoteViewサービス使用統計を確認することができます。マネージャー権限でログインした場合、自分が属しているマネージャーとユーザーアカウントの統計が提供されます。

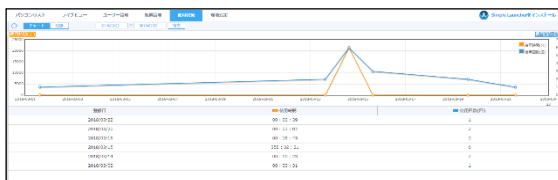


- 画面を更新する 

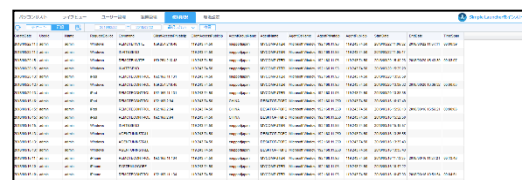
ウェブページ画面のデータが更新されます。

- 統計タイプを選択する チャート 記録 2018/02/22 ~ 2018/03/22 検索

RemoteViewサービスの使用統計を「チャート」「記録」の2種類のタイプから選択して統計情報を期間別に確認することができます。



チャートタイプ



記録タイプ

- チャートタイプで見る


使用統計を確認する対象及び期間を選択し、最上位グループ、グループ、遠隔地PCの各使用統計を「日付」「使用時間」「使用回数」ごとに確認することができます。



● 記録タイプで見る

使用統計を確認する対象及び期間を選択し、最上位グループ、グループ、遠隔地PCの各使用統計に関する詳細を確認することができます。

CreateDate	UserId	Name	RequestDevice	Command	ClientAccessPrivateIp	ClientAccessPublicIp	AgentGroup/Name	Agent/Name	AgentOs/Name	AgentPrivateIp	AgentPublicIp	StartDate	EndDate	TimeSpan
2018/03/22 11:4	admin	admin	Windows	REMOTERUNNITE	192.204.119.42	192.243.14.50	rsupport/japan	MYCOMPUTER	Microsoft Windows	192.172.14.51	192.173.14.52	2018/03/22 11:06:32	2018/03/22 11:07:11	00:00:39
2018/03/22 11:1	admin	admin	Windows	INVITESEND		192.243.14.50	rsupport/japan	MYCOMPUTER	Microsoft Windows	192.172.14.51	192.173.14.52	2018/03/22 11:05:47		
2018/03/20 15:4	admin	admin	Windows	REMOTERUNNITE	192.204.119.42	192.243.14.50	rsupport/japan	MYCOMPUTER	Microsoft Windows	192.172.14.51	192.173.14.52	2018/03/20 15:40:23	2018/03/20 15:43:30	00:03:07
2018/03/20 15:2	admin	admin	Windows	INVITESEND		192.243.14.50	rsupport/japan	MYCOMPUTER	Microsoft Windows	192.172.14.51	192.173.14.52	2018/03/20 15:29:29		
2018/03/20 13:1	admin	admin	iPad	REMOTECONTROL	192.166.11.131	192.243.14.50	rsupport/japan	MYCOMPUTER	Microsoft Windows	192.172.14.51	192.173.14.52	2018/03/20 13:56:59		
2018/03/20 13:2	admin	admin	Windows	REMOTECONTROL	192.204.119.42	192.243.14.50	rsupport/japan	MYCOMPUTER	Microsoft Windows	192.172.14.51	192.173.14.52	2018/03/20 13:39:32	2018/03/20 13:39:32	00:00:00
2018/03/20 13:1	admin	admin	iPad	REMOTECONTROL	192.166.11.131	192.243.14.50	rsupport/japan	MYCOMPUTER	Microsoft Windows	192.172.14.51	192.173.14.52	2018/03/20 13:38:35		
2018/03/16 16:1	admin	admin	iPad	REMOTECONTROL	192.166.11.131	192.243.14.50	CHINA	DESKTOP-TGFC	Microsoft Windows	192.172.14.51	192.173.14.52	2018/03/16 16:12:49		
2018/03/16 15:1	admin	admin	iPad	REMOTECONTROL	192.166.11.131	192.243.14.50	CHINA	DESKTOP-TGFC	Microsoft Windows	192.172.14.51	192.173.14.52	2018/03/16 15:56:13	2018/03/16 15:56:21	00:00:08
2018/03/16 15:1	admin	admin	iPad	REMOTECONTROL	192.166.11.131	192.243.14.50	CHINA	DESKTOP-TGFC	Microsoft Windows	192.172.14.51	192.173.14.52	2018/03/16 15:52:50		
2018/03/16 15:1	admin	admin	Windows	INVITESEND		192.243.14.50	rsupport/japan	MYCOMPUTER	Microsoft Windows	192.172.14.51	192.173.14.52	2018/03/16 15:18:57		
2018/03/16 13:1	admin	admin	Windows	AGENTUNINSTALL		192.243.14.50	rsupport/japan	DESKTOP-TGFC	Microsoft Windows	192.172.14.51	192.173.14.52	2018/03/16 13:35:55		
2018/03/16 13:1	admin	admin	Windows	AGENTUNINSTALL		192.243.14.50	rsupport/japan	DESKTOP-TGFC	Microsoft Windows	192.172.14.51	192.173.14.52	2018/03/16 13:35:43		
2018/03/16 13:1	admin	admin	Windows	AGENTUNINSTALL		192.243.14.50	rsupport/japan	DESKTOP-TGFC	Microsoft Windows	192.172.14.51	192.173.14.52	2018/03/16 13:35:43		
2018/03/16 11:1	admin	admin	iPhone	REMOTECONTROL	192.166.11.134	192.243.14.50	rsupport/japan	MYCOMPUTER	Microsoft Windows	192.172.14.51	192.173.14.52	2018/03/16 11:27:21	2018/03/16 11:27:21	00:13:46
2018/03/16 10:1	admin	admin	iPhone	SYSTEMLOGOFF		192.243.14.50	rsupport/japan	MYCOMPUTER	Microsoft Windows	192.172.14.51	192.173.14.52	2018/03/16 10:47:22		

※Excelファイルでエクスポート  することもできます。

※ログの最大保存期間は12か月になります。

5.7 環境設定を行う

各権限に合った環境設定を行うことができます。

The screenshot shows the RemoteView web interface. The top navigation bar includes 'RemoteView', 'パソコンリスト', 'ライブビュー', 'ユーザー管理', '組織管理', '使用状況', and '環境設定' (highlighted with a red box). The left sidebar lists various settings categories. The main content area is titled '環境設定' and contains a form for '管理者情報' (Administrator Information) and '会社情報' (Company Information). The administrator information includes fields for ID (admin), name (RSUPPORTJAPAN), and email (tech_jp@rsupport.com). The company information includes fields for company name (東京オフィス), representative name (東京オフィス), business registration number, business type, phone number, fax number, homepage, and address (postal code, city, and street).

各権限で設定できる項目を以下の通りです。

項目	管理者	マネージャー	一般ユーザー
基本情報管理	○	×	×
共通・セキュリティ設定	○	×	×
アカウント設定	○	○	○
個人オプション設定	○	○	○
ログイン管理	○	×	×
ライセンス詳細	○	×	×
RemoteView情報	○	○	○
ダウンロード	○	○	○



権限によって使用できるメニューが異なります。

5.7.1 共通情報

● 基本情報管理

サービスロゴイメージの変更、管理者情報、会社情報の確認・変更することができます。

(管理者IDは変更できません。)

入力または変更されたデータは管理者のアカウント情報と連動されます。



「管理者情報」修正アイコン  をクリックすると、管理者アカウントを設定することができます。

● 共通・セキュリティ設定

各種設定を以下の方法で個別に設定することができます。

ご利用に環境にあわせて設定を行ってください。

設定値	詳細
全体使用	すべてのアカウントに適用されます。
Agent設定	パソコンリスト > 遠隔地PC選択後、右クリック > ポップアップメニューから「登録情報」選択 > AgentオプションでAgentオプション別に適用されます。 (詳細は「 5.1.8.登録情報を確認・変更する 」を参照)
ユーザー設定	環境設定 > 個人オプション設定でアカウント別に適用されます。
使用しない	オプションを使用しません。

<遠隔制御の機能設定>

メニュー名	詳細	デフォルト設定
vPro使用	vPro機能使用可否を設定します。	全体使用
モバイル アクセス使用	モバイルアクセス可否を設定します。	全体使用
ライブビュー 使用	ライブビュー使用可否を設定します。	全体使用
メール招待	メール招待機能の使用可否を設定します。	全体使用
クリップボード 自動同期化	ビューアメニューのクリップボード機能が自動的に同期化設定されます。	ユーザー設定
モバイル QuickMenu設定 (カスタマイズ)	モバイルViewerで利用するQuickMenuの基本アプリ以外のアプリケーションを追加することができます。 プログラムは最大10個まで追加できます。実行には正確なプログラムパスの登録が必要です。 例) C:¥Program Files¥example.exe	

<ファイル転送設定>

メニュー名	詳細	デフォルト設定
制御中ファイル 転送設定	遠隔制御中のファイル転送権限を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ファイル送受信 ・ファイル送信 ・ファイル受信 ・使用しない ※権限設定でファイル転送に関する権限を付与している場合、この設定を変更すると会社全体で変更が反映されます。	ユーザー設定
遠隔 エクスプローラー を使用	遠隔エクスプローラーの使用制限を設定します。	全体使用

※上記2項目の設定は関連せず独立して動作します。

<遠隔制御の品質設定>

メニュー名	詳細	デフォルト設定
制御モード	遠隔制御初期接続時に制御モード(高速制御モード/グラフィック制御モード)を設定します。	ユーザー設定
画面カラー	ビューアの画面カラーを設定します。(数字が低いほど制御速度が速くなります。)	ユーザー設定

<遠隔地セキュリティ>

メニュー名	詳細	デフォルト設定
遠隔制御開始時、 遠隔画面自動ロック	遠隔操作実行時に遠隔地PCの画面を黒色にロックします。	ユーザー設定
遠隔制御終了時に システムロック・ ログオフ設定	遠隔制御終了時に遠隔地PCをシステムロックまたはシステムログオフに切り替えます。	ロック
遠隔制御中の ビューア未使用時処理	遠隔制御中、一定時間使用しない場合、ビューア画面ロックまたは終了処理します。	ユーザー設定

<許可IP、MACアドレス設定>

メニュー名	詳細	デフォルト設定
許可IP設定	特定のIP帯域へのアクセス可否を設定します。 ※制限ルールはローカルIPの制限ベースになります。 ローカルIPがない場合グローバルIPを制限対象としてみなします。	使用しない
許可MAC アドレス設定	特定のMACアドレスへのアクセス可否を設定します。 ※PC側の登録する対象のMACアドレスは通信を行うNIC側のMACアドレスを登録します。 ※モバイルアプリの場合、モバイルアプリの設定に表示されるMACアドレスを登録します。 ※Excelファイルでの一括登録を対応しています。ページ内のサンプルを利用し登録を行ってください。	使用しない

※IPとMACアドレスの制限は管理者アカウントには適用されません。

<その他セキュリティ設定>

メニュー名	詳細	デフォルト設定
ウェブログインの タイムアウト設定	ログインを維持する時間を設定します。 設定後、再ログインすることで有効になります。	30分
接続可能時間の設定	一般ユーザーの接続可能な時間スケジュールを設定します。（管理者・マネージャー権限は該当外） ※接続可能時間外には「遠隔制御」「遠隔エクスポーラ」機能の実行が制限されます。 ※「ユーザー設定」にして例外対象を設定することも可能です。（管理者のみ設定可能）	使用しない
Agentグループの 接続可能時間設定	一般ユーザーの接続可能な時間をAgentグループごと設定できるようにします。 ※「接続可能時間の設定」と設定を併用することはできません。 ※時間設定はパソコンリストでAgentグループを選択し「Agentグループの接続可能時間設定」で行うことができます。	使用しない
設定適用時、 パスワード再確認	設定を変更し適用するごとに、パスワードを確認するよう設定します。	全体使用
一般ユーザーの Agent削除	一般ユーザーがAgent削除できるよう設定します。	使用しない
Agentアカウント情報 未入力でAgent削除 (管理者)	管理者でAgentを削除する際、AgentのアクセスIDとパスワードの入力なしでAgentを削除することができるようにする設定です。	使用しない
一般ユーザーの Agent接続終了	遠隔制御中のPCに接続時、既存接続を切断し、接続することができる機能です。	使用しない
遠隔操作中の マウス・キーボードロック	遠隔操作中、遠隔地のマウスやキーボードが使用できないようロックする機能です。	使用しない
パスワードの セキュリティレベル 設定	・ レベル(弱) ：6～24字の英字(大/小文字)、数字、特殊文字で入力可能 ・ レベル(普通) ：8～24字の英字(大/小文字)、数字、特殊文字で入力可能/3桁以上の連続数字は使用不可	セキュリティ レベル(弱)

	<ul style="list-style-type: none"> ・レベル(強) : 8~24字の英字(大/小文字) 、数字、特殊文字で入力可能/3桁以上の連続数字は使用不可/英字大文字、小文字、数字、特殊文字の組合せ <p>個別オプション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2種類以上の組合せ ・3種類以上の組み合わせ ・直近の使用済みパスワード5つは使用不可 <p>※使用済みパスワードの対象はユーザーが直接設定したパスワードです。</p>	
パスワード有効期間の設定	<p>マネージャー、ユーザーが利用するパスワードの使用期間を設定します。</p> <p><有効期限満了時の解除方法 : 2通り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Webブラウザを経由してログインを試すと表示される「パスワード変更」ポップアップからパスワードを変更 ・管理者が任意で変更 	チェックなし
パスワード入力5回失敗時にロック	<p>パスワード入かに5回失敗すると、ログインできないようにします。ロック後、正しいパスワードを入力しても設定された時間が経過しないとログインできません。ロックが掛かった際には管理者にメール通知が届くようになっています。</p> <p>管理者以外のアカウントに対して通知しない設定も可能です。「管理者がロックされた場合のみメール送信」</p> <p><手動解除方法 (管理者権限) ></p> <p>管理者権限でログイン後「ユーザー管理」にてロックがかかったユーザーの「登録情報」から「パスワード失敗ロック解除」メニューを解除すると、ロック時間が経過しなくてもご利用できるようになります。</p>	使用しない
組織管理のグループ間情報検索制限	<p>組織管理ページ内に属しているグループの情報を照会できるように制限することができます。</p>	使用しない
2段階認証を使用(OTP)	<p>RemoteViewログイン時や遠隔地PCへの接続時にOTPを使用します。</p> <p>詳細は「7.1 2段階認証(OTP)を使用する」参照</p>	使用しない

< 遠隔地PC実行制限設定 >

メニュー名	詳細	デフォルト設定
遠隔地PCのプロセス 実行制限設定	遠隔接続中5秒ごとに登録されているプロセスが実行しているか確認し、停止させます。	使用しない
遠隔地PCのサービス 停止/再開設定	遠隔接続中5秒ごとに、登録しているサービスが実行しているか確認し、停止させます。 登録したサービスを遠隔接続終了後、開始させます。	使用しない

※詳細は「[7.4 遠隔地PC実行制限設定](#)」参照

5.7.2 個別情報

● アカウント設定

ユーザーのアカウント情報の確認・変更をすることができます。
(ユーザIDは変更できません。)

入力または変更されたデータは管理者のアカウント情報と連動されます。

「パスワード変更」はデータが入力される際に有効性チェックが実行されます。

入力されない場合は、有効性チェックが実行されない状態で処理されます。

● 個人オプション設定

各ユーザーが利用シーンに合わせて各機能の初期設定を行います。

<一般設定>

メニュー名	詳細	デフォルト設定
お気に入り	お気に入り領域の使用可否を設定します。	使用する
複数選択機能	Ctrlキー、Shiftキー+マウスを利用した複数選択機能の使用可否を設定します。	使用する
マウス右クリック メニュー	マウス右クリック機能を利用したサービスメニューの使用可否を設定します。	使用する
設定保存機能	最終作業状態の維持可否を設定します。	使用する

<遠隔制御の品質設定>

メニュー名	詳細	デフォルト設定
制御モード	遠隔制御初期接続時に制御モード(高速制御モード/グラフィック制御モード)を設定します。	高速制御モード
画面カラー	ビューアの画面カラーを設定します。 数字が低いほど制御速度が速くなります。	256色

<遠隔制御の機能設定>

メニュー名	詳細	デフォルト設定
クリップボード 自動同期化	ビューアメニューのクリップボード機能が自動的に同期化設定されます。	使用する

<遠隔地セキュリティ>

メニュー名	詳細	デフォルト設定
遠隔制御開始時、 遠隔画面自動ロック	遠隔操作実行時に遠隔地PCの画面を黒色にロックします。	使用しない
遠隔制御終了時に システムロック	遠隔制御終了時に遠隔地PCをWindowsログイン画面に切り替えます。	使用しない
遠隔制御中の ビューア未使用時処理	遠隔制御中、一定時間使用しない場合、ビューア画面ロックまたは終了処理します。	使用しない

5.7.3 ログイン管理

管理者がユーザーアカウントのログイン状況を確認することができます。

● 最終ログイン

各ユーザーの最後にログインした情報を表示します。

時間	ユーザID	名前	最終アクセスIP	最終アクセス方法	最終アクセスデバイス
2018/01/16 16:59:36	admin	RSUPPORTJAPAN	119.243.74.50	Web	Windows
2018/01/16 14:29:21	a1234571	manager5	119.243.74.50	Viewer	Android
2018/01/16 14:28:41	a1234574	manager8	119.243.74.50	Viewer	Android
2018/01/16 14:03:27	a1234570	manager4	119.243.74.50	Viewer	iOS
2018/01/16 12:01:27	a1234569	manager3	119.243.74.50	Web	Windows
2018/01/16 11:59:33	a1234568	manager2	14.63.229.152	Viewer	iOS
2017/12/20 17:12:57	sawada	sawada	49.98.142.86	Web	Windows
2017/11/22 11:19:31	yhtest	test	220.85.141.125	Web	Mac
2017/11/22 11:18:41	test	111111	220.85.141.125	Web	Mac

● ログイン失敗

ユーザが異なるパスワードを入力して失敗した情報を記録します。

※ 直近の3ヶ月間が表示されます

時間	ユーザID	名前	アクセスIP	アクセス方法	アクセスデバイス	パスワード入力失敗回数	アカウントロック
2018/01/16 14:29:13	e1234571	manager5	119.243.74.50	Viewer	Android	1	N
2018/01/16 14:28:30	e1234574	manager6	119.243.74.50	Viewer	Android	1	N
2018/01/16 14:25:34	e1234574	manager8	119.243.74.50	Viewer	iOS	2	N
2018/01/16 14:25:27	e1234574	manager8	119.243.74.50	Viewer	iOS	1	N
2018/01/16 14:19:17	admin	RSUPPORTJAPAN	220.85.141.125	Web	Windows	2	N
2018/01/16 14:19:12	admin	RSUPPORTJAPAN	220.85.141.125	Web	Windows	1	N
2018/01/16 14:19:01	e1234574	manager6	119.243.74.50	Viewer	iOS	1	N
2018/01/16 14:18:09	e1234574	manager8	119.243.74.50	Web	Windows	1	N
2018/01/16 14:03:21	e1234570	manager4	119.243.74.50	Viewer	iOS	1	N
2018/01/16 12:01:21	e1234569	manager3	119.243.74.50	Web	Windows	1	N
2018/01/16 12:00:15	e1234569	manager3	14.63.229.152	Viewer	iOS	1	N
2018/01/15 14:58:07	e1234574	manager6	14.63.229.152	Web	Windows	5	Y

5.7.4 ライセンス情報

● ライセンス詳細

現在お使いのライセンス状態を確認することができます。

インストール済みPC台数(8) / 使用できるライセンス(PC数) (10)

バージョン	PC台数	購入日	サービス開始日	サービス終了日	区分	ステータス
Enterprise	1	2015/08/01	2015/08/18	2089/12/31	有料(毎月自動更新)	待機
Enterprise	10	2015/08/14	2015/08/18	2020/08/31	トライアル	有効
Enterprise	10	2014/08/06	2014/08/06	2015/08/25	有料(新規)	有効

前ページ

5.7.5 製品情報

● RemoteView 情報

製品名・バージョン・コピーライトとお問い合わせに関するリンク(製品に関するお問い合わせ、ホームページ) 情報を確認することができます。

RemoteView バージョン : 6.0.9 COPYRIGHT © 2001 ~ 2018 RSUPPORT CO., LTD ALL RIGHTS RESERVED.	
お問い合わせ	
製品のお問い合わせ <ul style="list-style-type: none"> テクニカルお問い合わせ パートナーお問い合わせ : sales.jp@rsupport.com 	関連リンク <ul style="list-style-type: none"> Rsupportホームページ RemoteView ホームページ

● ダウンロード

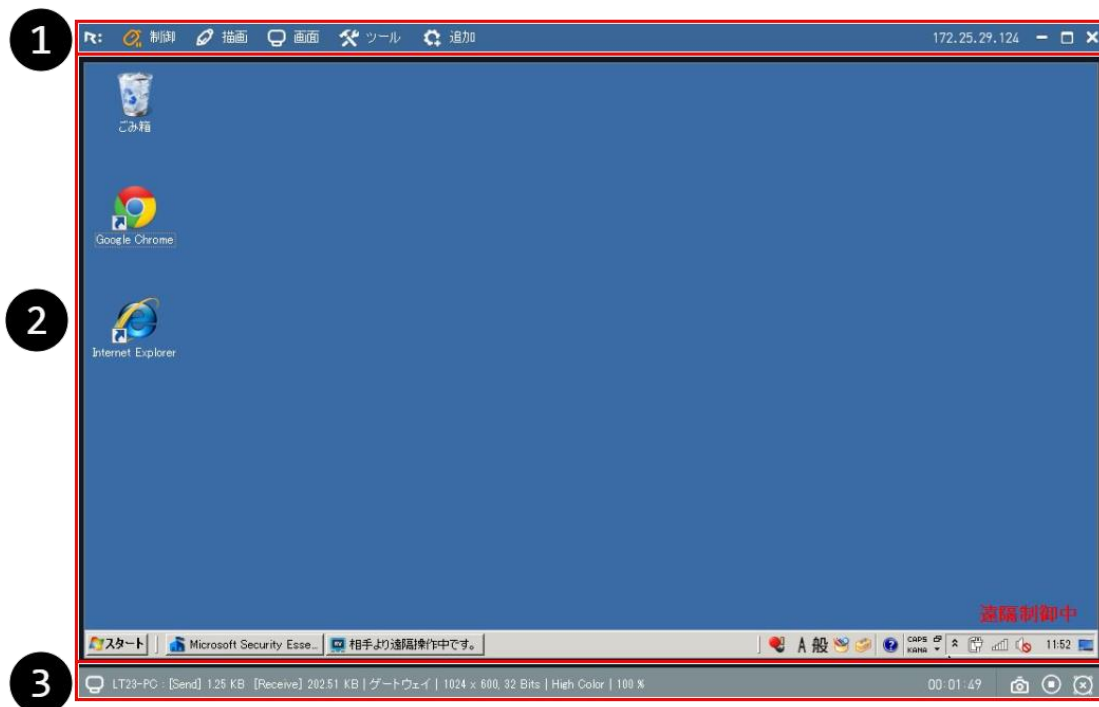
マニュアル及びアプリケーションなどをダウンロードすることができます。

RemoteView	
製品に関する紹介およびユーザー画面と機能などに対して詳細をご確認できます。	
Enterpriseマニュアル	ダウンロード
Standardマニュアル	ダウンロード
iPhone(iPad) マニュアル	ダウンロード
Android OS マニュアル	ダウンロード
Mac OS X ユーザガイド	ダウンロード
Mac OS X インストールガイド	ダウンロード
PCアプリケーションコンソールガイド	ダウンロード
Linux コンソールマニュアル	ダウンロード
製品別 機能一覧表	ダウンロード
PC機能別対応機能一覧表	ダウンロード
サーバドメイン・IP一覧	ダウンロード
ダウンロード	
PCアプリケーションコンソール	ウェブ画面にアクセスせず、PCにコンソールをインストールして、遠隔操作を簡単に実行することができます。

6. 遠隔地PCに接続する

遠隔地PCに接続すると、ローカルPC画面上にビューア画面が表示されます。

ビューア画面に表示される機能を利用して、遠隔地PCを遠隔操作することができます。



番号	メニュー名	説明
①	ビューアメニュー	遠隔地PCを制御するための各種機能を選択できます。 詳細は「 6.1.ビューアメニュー 」を参照
②	遠隔地PC画面	実際に制御する遠隔地PC画面が表示されます。 遠隔地PC画面の詳細は「 6.2. 遠隔制御中の遠隔地PC画面 」を参照
③	ステータスバー	遠隔制御状態や録画機能を選択できます。 詳細は「 6.3.ステータスバー 」を参照

6.1 ビューアメニュー

ビューアメニューでは、遠隔地PCを制御するための各種機能を選択できます。

制御設定や、遠隔地PCの直接制御、遠隔地PC側にいる人に指示や説明をするために使用することができます。



6.1.1 ホーム

● 制御設定

遠隔制御開始時に適用される環境を設定することができます。(接続後で設定は変更できます。)



制御設定	ネットワーク	ネットワークの状態によってデータ圧縮の有無を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 一般：データを圧縮して転送 高速：データを圧縮しないで転送
	制御モード	遠隔地PCの環境によって制御モードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 高速：仮想ドライバー（VRVD）で画面を検出 グラフィック：仮想ドライバーを利用しないで画面を検出
	画面色	RemoteViewのビューアに表示される画面色を選択します。
	True Color品質	一般ネットワーク環境の場合に画質を調整します。
共有画面	遠隔解像度	遠隔地PCの解像度を調整することができます。(macOS非対応)
	遠隔画面色	遠隔地PCの色を調整することができます。(macOS非対応)
画面	自動スクロール	遠隔地PCの画面がローカルPCの画面より大きい場合、ビューア

スクロール	の下と右側にスクロールが表示されます。オプションを選択するとマウスの動きだけで上下左右へのスクロールができます。
マウสดラッグ	遠隔地PCの画面が大きい場合、画面をマウスでクリックした状態で引っ張り、その動きによって隠れている画面を確認することができます。

● 常に前へ

ビューアを他のプログラムウィンドウより最前面に常に位置させ、遠隔制御をより便利に行うことができます。



● 受信ファイルフォルダを開く

遠隔操作中に遠隔地PCからファイルを転送された場合に、保存されたファイルがあるフォルダを開きます。



※ファイル保存先

パブリックのドキュメント¥Rsupport¥RemoteView¥Received Files

● 受信ファイルリストの表示

遠隔操作中に遠隔地PCからファイルを転送された場合、転送されたファイルリストを表示します。ファイル名をクリックするとそのファイルを実行することができます。

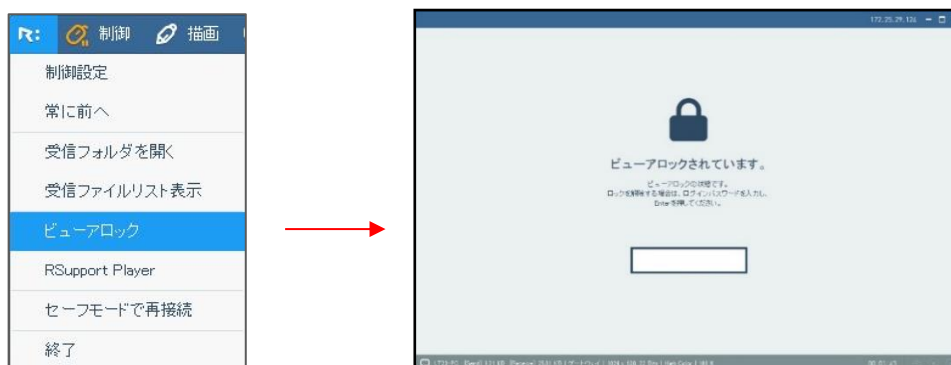


● ビューアロック

遠隔地PCを遠隔操作中にローカルPCのユーザーが離席することになった場合、ビューアロック機能を実行すると、ビューアの全機能を使用できないようにすることができます。

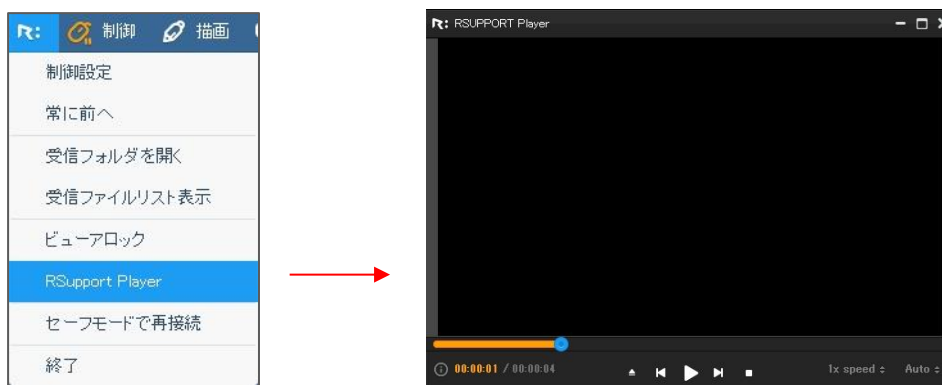
ロックを解除する場合は、Agentアクセスの際に使用するパスワードを入力します。

※ロック画面が表示された状態では遠隔接続が維持されたまま、画面情報送信も止まります。

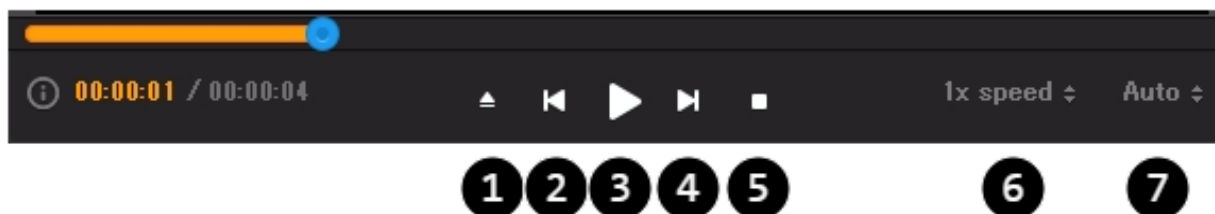


● RSupport Player

録画保存されたファイルを専用のプレーヤーを実行して再生することができます。



<Playerメニューの説明>



番号	説明
①	再生する録画ファイルを選択することができます。

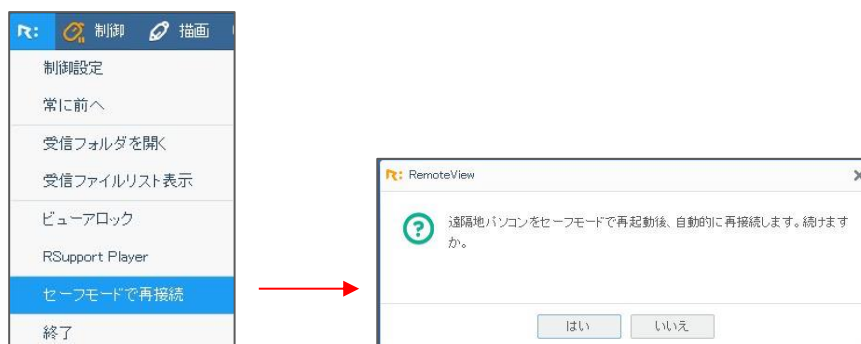
- ② 選択した録画ファイルの情報を確認することができます。
- ③ 再生中の画面の大きさを拡大/縮小することができます。
- ④ 選択した録画ファイルを再生します。
- ⑤ 録画ファイルの再生を終了します。
- ⑥ 現在再生中の録画ファイルの以前/次のファイルを再生します。
- ⑦ 再生速度を1~10倍で調整します。



RemoteViewにログインしていないPCでは録画ファイルの再生ができません。

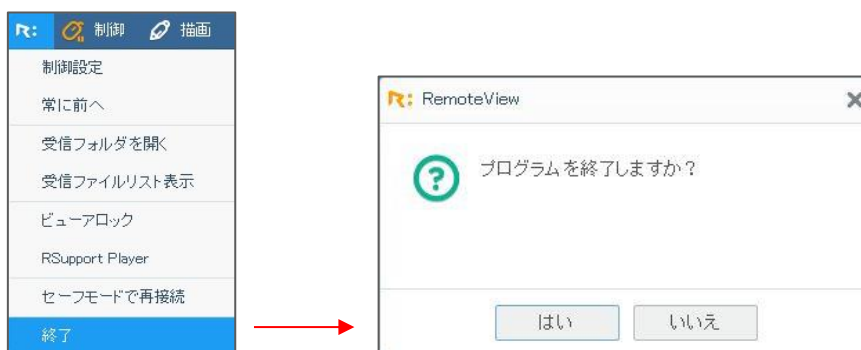
● セーフモードで再接続

遠隔地PCがセーフモードで再起動され、再起動後に遠隔操作に再接続します。





● 終了

ビューアプログラムから遠隔地PCへの遠隔制御を終了します。



6.1.2 制御

ビューメニューのマウスアイコンをクリックすると、制御権を取得  または解除  することができます。

● マウス/キーボード制御

遠隔地PCのマウス/キーボードをローカルPCから遠隔で使用できるようにします。

ビューメニューのマウスアイコンをクリックすると、遠隔地PCへのマウス/キーボード制御権取得  または解除  することができます。



● マウス追跡

遠隔地PCのマウスの動きをローカルPCで確認することができます。

(遠隔地PCのマウスカーソル以外にローカルPCで追跡できるポインターが現れます。)



● レーザーポインター

矢印形のポインターを表示させ、遠隔制御の際に特定の位置や動きを簡単に案内することができます。

(マウス左ボタンを押すとポインターが現れます。)



● カーソル表示

遠隔地PCに表示されるカーソルの表示方法を選択することができます。





● Ctrl+Alt+Del キー転送

遠隔地PCでCtrl+Alt+Delキーを押す必要があるときに使用します。



※Ctrl+Alt+Delキー転送を行っても画面が切り替わらない場合は、制御設定で制御モードを「グラフィック」に変更すると改善される場合があります。

6.1.3 描画

ローカルPCから遠隔地PC画面に描画することができます。ビューアメニューの鉛筆アイコンをクリックすると、描画を開始  または解除  することができます。

● 描画開始

遠隔地PCへの描画を開始します。

● 描画タイプ

遠隔地PCに描画する際の描画タイプを選択します。



(フリーハンド / 矢印 / 直線 / 四角形 / 円)

- **描画カラー**

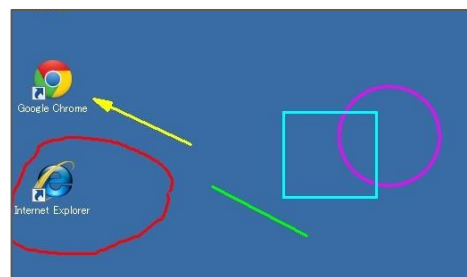
描画する線の色を変更します。

- **全体削除**


描画したすべての線を消去します。

- **双方描画**

ローカルPCと遠隔地PCから同時に描画することができます。



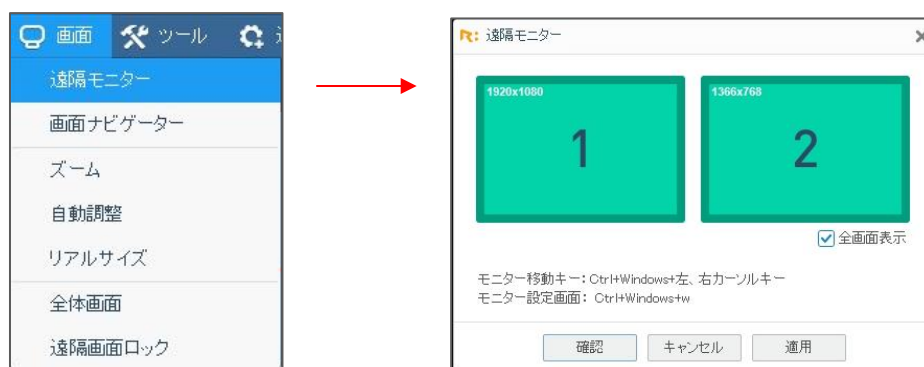
6.1.4 画面

 アイコンをクリックすると、ビューア画面上の遠隔地PC画面比率が100%、90%、80%、70%、60%、50%の順で変更されます。

- **遠隔モニター**

遠隔地PCで2台以上のモニターを使用している場合、遠隔地PCのモニターの中からモニター画面を1つ選択し、ローカルPCビューアに表示させることができます。

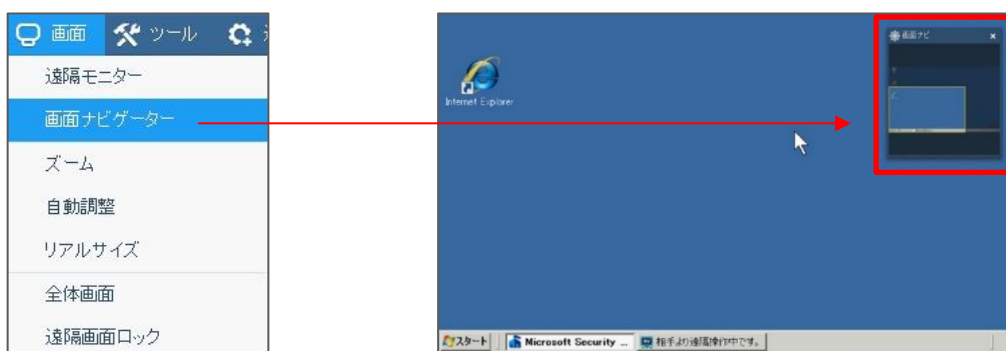
1つだけを表示するためには「全画面表示」のチェックを外します。



※遠隔制御中に追加されたモニターはリストにモニターが現れない場合があります。

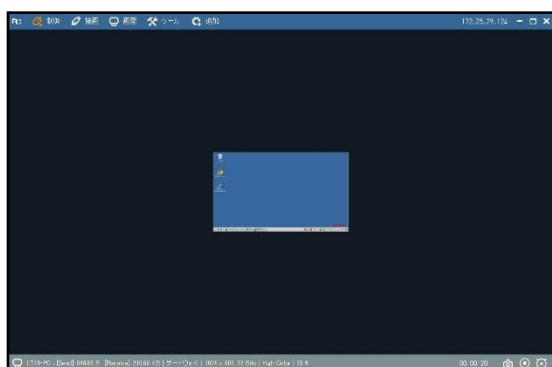
● 画面ナビゲーター

遠隔地PCの画面がビューアより大きい場合、隠れている部分を表示させることができます。

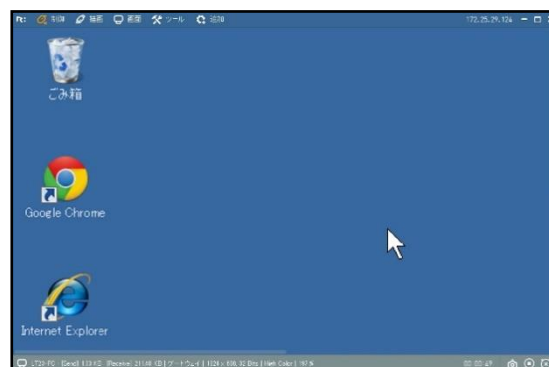


● ズーム

ローカルPCでビューアサイズの倍率を操作環境に合わせて25~200%倍率で調整することができます。



ズーム25%の場合



ズーム200%の場合

● 自動調整

ローカルPCのビューアサイズに合わせて遠隔地PCの画面を自動調整します。

● リアルサイズ

遠隔地PCの実際の解像度でローカルPCのビューアに表示します。



● 全体画面

ビューア画面の遠隔地PC画面だけをローカルPCのモニターサイズに合わせて表示します。

ビューアメニューとステータスバーが画面上から隠れますが、マウスオーバーすることでメニューを表示させることができます。

「**全体画面**」項目を再度クリックすると、全体画面表示が解除されます。



● 遠隔画面ロック

遠隔操作中、遠隔地PCの画面が他の人に見られないようにロックします。（遠隔地PCのモニターをオフにする効果です。）

「**遠隔画面ロック**」項目を再度クリックすると、全体画面表示が解除されます。






グラフィックカードの種類によっては、遠隔画面ロック機能に対応できない場合があります。

この場合デバイスマネージャーからモニタードライバー削除して再度モニタードライバーをインストールすることで改善される場合があります。

6.1.5 ツール

● 画面保存

遠隔制御中の遠隔地PCの画面をキャプチャし、ローカルPCにJPGファイル形式で保存します。
ステータスバーの  アイコンをクリックしても画面保存が可能です。

保存後、 アイコンにマウスオーバーすると、以下の画面のように保存した画像がサムネイルで表示され、フォルダアイコン  をクリックすると画像が保存されたフォルダが開かれます。



● URL 転送

ローカルPCからURLを転送すると、遠隔地PCでウェブブラウザが起動され、URL先が開かれます。



● ファイル転送

ローカルPCにあるファイルを遠隔地PCに転送します。

Drag&DropやCopy&Paste機能に対応しています。ローカルPCでファイルを選択し、ビューアに表示される遠隔地PCの指定フォルダにDrag&DropまたはCopy&Pasteすることで簡単にファイルを転送することができます。

※遠隔地PCとローカルPCがWindowsPCの環境の場合ご利用いただけます。

複数のフォルダに散在しているファイルを一括で転送する場合は、「ファイル転送」項目をクリックし、転送をおこなってください。

※管理者の「制御中ファイル転送設定」が、「ファイル受信」または「ファイル送受信」の際に利用可能です。

※管理者の設定によっては、ファイル転送同意確認が遠隔地PCに表示されることもあります。

① 「ツール」の「ファイル転送」をクリックします。



② ファイル転送ウィンドウが表示されます。

「追加」ボタンまたはDrag&Dropでファイル/フォルダを転送リストに追加します。



- ③ リストから転送するファイル/フォルダを選択し、「転送」ボタンをクリックします。
- ※一度で転送できる容量は最大500Mbです。



- ④ 転送中の状況が表示されます。
- 転送をキャンセルしたい場合は、「中断」をクリックします。



※ファイル保存先（遠隔地PC）

パブリックのドキュメント¥Rsupport¥RemoteView¥Received Files

● ファイル取り込む

遠隔地PCにあるファイルをローカルPCに取り込みます。

Drag&DropやCopy&Paste機能(ショートカットキーCtrl+C/Ctrl+V対応)に対応しています。

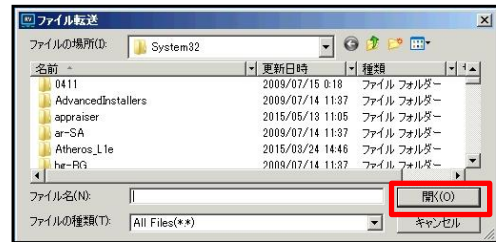
遠隔地PCでファイルを選択後、ローカルPCの指定フォルダにDrag&Drop、またはCopy&Pasteすることで簡単にファイルを取り込むことができます。

※遠隔地PCとローカルPCがWindowsPCの環境の場合ご利用いただけます。

- ① 「ツール」の「ファイル取り込む」をクリックします。



- ② ファイル転送ウィンドウが表示されます。
「開く」ボタンをクリックします。



- ③ 「転送」ボタンをクリックします。



- ④ 転送中の状況が表示されます。
転送をキャンセルしたい場合は、
「中断」をクリックします。



※ファイル保存先（ローカルPC）

パブリックのドキュメント¥Rsupport¥RemoteView¥Received Files

● クリップボード

ローカルPCと遠隔地PCのクリップボード内容を確認/同期することができます。

※ローカルPCからコピーした情報が遠隔地PCに同期化される機能です。



※macOSのPCの場合クリップボードによる画像の取り込みは対応していません。

- サウンド共有 (macOS 非対応)

遠隔地PCから出るサウンドをローカルPCで聞くことができます。

※動作は遠隔地PCとローカルPCにサウンド装置が利用できる状態に限ります。

(詳細は「6.3. ステータスバー > サウンド共有」を参照)



- 録画

ローカルPCが遠隔地PCを操作する様子を録画することができます。

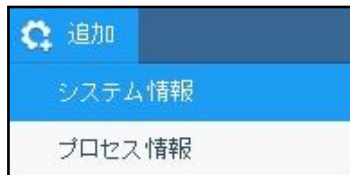
(詳細は「6.3. ステータスバー > 録画」を参照)



6.1.6 追加機能

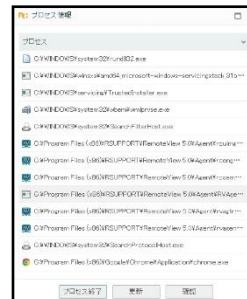
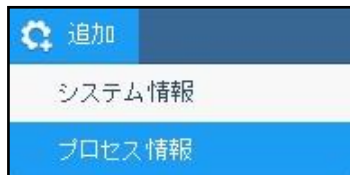
- システム情報 (Agent が macOS の場合非対応)

遠隔地PCのシステム情報(ハードウェア、ソフトウェア)を確認することができます。



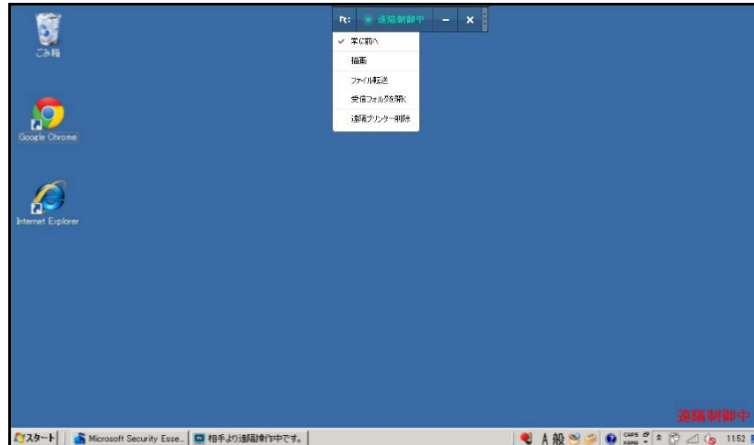
- プロセス情報 (Agent が macOS の場合非対応)

遠隔地PCのプロセス情報の確認をしたり、実行中のプロセスを強制終了することができます。



6.2 遠隔制御中の遠隔地PC画面

実際に制御する遠隔地PC画面が表示されます。



6.2.1 遠隔地PCから機能を使う

遠隔操作中、遠隔地PC画面の右下に「遠隔制御中」という表示と共に表示される接続案内画面で、ローカルPCが遠隔地PCを遠隔制御中であることを表します。

※ 注意 ※

接続案内ウィンドウを終了すると、ローカルPCとの遠隔接続も切断されます。

また、様々な機能を遠隔地PCで実行することができます。



● 接続案内画面の機能

機能	説明
常に前へ	接続案内ウィンドウを他プログラムより常に前に位置させます。
描画	遠隔地PCの画面上に描画します。
ファイル転送	遠隔地PCから操作元のPCにファイルを転送します。
受信フォルダを開く	遠隔地PCから操作元のPCから受信したファイルが保存されたフォルダを開きます。
遠隔プリンター インストール / 削除	遠隔プリンタードライバーをインストール/削除します。

6.3 ステータスバー

ステータスバーでは、遠隔制御状態や録画機能を選択できます。



● RemoteView 使用状態情報



LT28-PC : [Send] 5.66 KB [Receive] 300.07 KB | ゲートウェイ | 1024 x 600, 32 Bits | High Color | 100 % 00:21:54

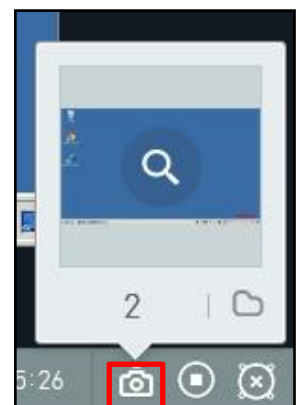
PC名・Agent名	遠隔地PCのPC名及びAgent名を表示します。
データ通信量	画面データ通信量を表示します。
ネットワーク状態	ネットワーク接続の状態を表示します。 接続方式 : P2P / ゲートウェイ ネットワーク接続方式 : Wi-Fi / 3G / 4G
解像度	遠隔地PCの解像度情報を表示します。
ビットレート	遠隔地PCから転送されている動画の更新率を表示します。
表示比率	ビューアに表示される画面の比率を表示します。
使用時間	遠隔地PCの制御経過時間を表示します。

● 画面保存

遠隔制御中の遠隔地PCの画面をキャプチャし、ローカルPCにJPGファイル形式で保存します。

※ビューアメニュー > ツールの「画面保存」をクリックしても同じ機能が使用できます。

保存後、アイコン  にマウスオーバーすると、以下の画面のように保存した画像がサムネイルで表示され、フォルダアイコン  をクリックすると、画像が保存されたフォルダが開かれます。



● 録画


遠隔制御中の遠隔地PCの画面を録画し、ローカルPCに録画ファイルとして保存することができます。

※ビューアメニュー > ツールの「録画」をクリックしても同じ機能が使用できます。

録画アイコンをクリックすると、録画中アイコン  に変わります。

再度クリックすると、録画が中止され、アイコンが  に戻ります。



録画終了開始後、上画面のように録画時間が表示され、フォルダアイコン  をクリックすると、録画動画が保存されたフォルダが開きます。

※独自の録画方式を採用しているため、Rsupport Playerでのみ再生することができます。

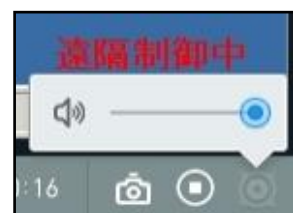
● サウンド共有

遠隔地PCから出るサウンドをローカルPCで聞くことができます。

※ビューアメニュー > ツールの「サウンド共有」をクリックしても同じ機能が使用できます。

サウンド共有時、 アイコンが  アイコンに変わります。

マウスオーバーすると、以下の画面のようにボリューム調整バーが表示されます。



サウンドカードの種類によっては、サウンド共有機能に対応できない場合があります。

7. 認証/セキュリティオプション

RemoteViewを様々なセキュリティ要件に合わせるために、RemoteView6.0サービスから新しく追加された認証・セキュリティオプションです。利用するためには販売代理店に別途申請する必要があります。

7.1 2段階認証(OTP)を使用する OPTION 機能

よりRemoteViewを安全にお使いいただくために、RemoteViewログイン時や遠隔地PCへの接続時にOTP (One Time Password) を使用する2段階認証を設定することができます。

配布された認証キーを事前にGoogle認証システムアプリに登録し、RemoteViewログイン時や遠隔地PCへの接続時に使用します。

7.1.1 ユーザーに認証キーを発行する

認証キーは、管理者がユーザーに対して発行・案内します。

認証キーの案内方法には、「管理者設定」「ユーザー設定」の場合の2種類があります。

セキュリティ性やご利用環境にあった方法で行ってください。

● 管理者が認証キーを案内・管理する場合 (管理者設定)

: 中央管理。メールアドレス、端末、OTPキーなどを紛失・盗難した時、管理者が任意で使用を中止できるようにした方式です。

① 環境設定ページの「共通・セキュリティ設定」に移動します。

「その他セキュリティ設定」の「2段階認証を使用 (OTP)」のオプションで「全体使用」にチェックをいれます。

②

③ OTP設定モードのオプションを「管理者設定」にチェックをいれ、「適用」ボタンをクリックし、設定を保存します。

2段階認証を使用(OTP)

全体使用 使用しない

ログイン時、One Time Passwordを使用して2段階認証を設定します。

OTP設定モード 管理者設定 ユーザー設定

認証キーの配布は、管理者一括設定またはユーザー設定が利用可能です。

管理者の認証キーはアカウント設定から設定することができます。

適用

- ④ ユーザー管理ページの表示方法を   をクリックし、リスト表示に変更します。

ユーザーID	名前	部署	役職	備考	メール	OTP認証キー
 japan-branch						
 manager						
 submanager						
 hayasi	hayasi					E76FMJ6MCDPRGQF5 <input type="button" value="再設定"/>
 manager1	knkkm					ZCCJIEVEP472XWSF <input type="button" value="再設定"/>
 user1	knkkm					XD4YNAOOGWKNBOD <input type="button" value="再設定"/>
 hitomi2	sasaki					5L3CVOVC7JGFRMLF <input type="button" value="再設定"/>

※このページでOTP認証の再設定することができます。

- ⑤ ユーザーごとにOTP認証キーを個別案内するか、端末へ個別設定を行います。
- ⑥

● **ユーザーが認証キーを自分で管理する場合（ユーザー設定）**

：ユーザーIDにメールアドレスが登録できていれば、管理者が関与せず、メールを経由して認証キーの発行ができる方式です。

- ① 環境設定ページの「共通・セキュリティ設定」に移動します。
「その他セキュリティ設定」の「2段階認証を使用（OTP）」のオプションで「全体使用」にチェックをいれます。
- ② 「OTP設定モード」のオプションを「ユーザー設定」にチェックをいれ、「適用」ボタンをクリックし、設定を保存します。

2段階認証を使用(OTP) 全体使用 使用しない

ログイン時、One Time Passwordを使用して2段階認証を設定します。

OTP設定モード 管理者設定 ユーザー設定

認証キーの配布は、管理者一括設定またはユーザー設定が利用可能です。

管理者の認証キーはアカウント設定から設定することができます。

認証キーの配布

ユーザー設定の場合、「全体使用」を適用する前に認証キー配布を完了する必要があります。

- ③ 「認証キー配布」ボタンをクリックすると、登録されているユーザーに認証キーがメールで一括配布されます。

※ 注意 ※

認証キーを配布する前に、すべてのユーザーの登録情報にメールアドレスが正しく登録されているか、必ずご確認ください。

※ユーザー管理ページのユーザーアイコンを右クリックすると、認証キーを個別でメール送信することもできます。

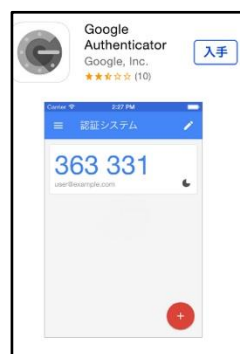
※ 注意 ※

- ・管理者の認証キーは、環境設定ページの「**アカウント設定**」メニューで確認できます。
- ・OTP情報を忘れて、確認することができない場合は、2段階認証時に「**認証キーをメールで受信**」をクリックして再度認証キーを取得します。

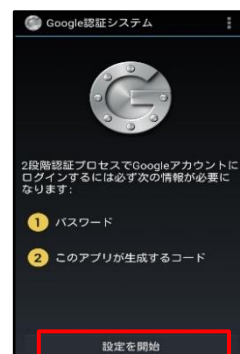


7.1.2 Google認証システムアプリに認証キーを登録する

- ① Google認証システムアプリをダウンロード、インストールします。



- ② 「設定を開始」をタップします。



③ 認証キーの情報入力を選択します。

● **バーコードをスキャン**

受信した認証キーメールにあるバーコードをカメラで撮影します。

● **手動で入力（提供されたキーを入力）**

認証キー用のアカウントと受信した認証キーを入力します。

④ 認証キーが登録され、6桁のOTP情報が表示されます。

このOTP情報は1分ごとに更新される数字で、2段階認証の際に使用します。



7.1.3 2段階認証(OTP)でRemoteViewにログインする

① アカウント情報でRemoteViewにログインします。（1段階認証）

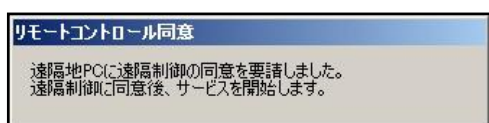
② 2段階認証を求めるウィンドウが表示されます。

Google認証システムアプリを開き、6桁のOTP情報を確認後入力します。

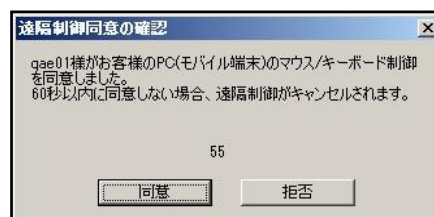


7.2 遠隔地PC制御同意 OPTION 機能

遠隔地PCに遠隔制御のために接続する際に同意を求めるメッセージを表示させることができます。（60秒以内に同意する必要がある必要があります。）



ビューア画面



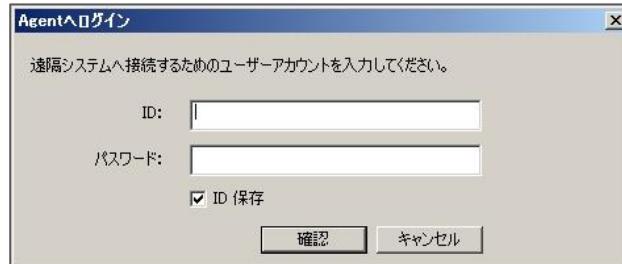
遠隔地画面

7.3 遠隔地PCへの接続認証 OPTION 機能

遠隔地PCに接続するアカウント認証方法には3種類があります。

7.3.1 Agent IDとパスワード入力方式

Agentインストールの際設定したAgent IDとパスワードを利用する方式です。（デフォルト）



Agentログイン

遠隔システムへ接続するためのユーザーアカウントを入力してください。

ID:

パスワード:

ID 保存

7.3.2 2段階認証(OTP)方式

Agent IDとパスワードの代わりにユーザーに割り当てられているOTP認証を利用する方式です。



2段階認証

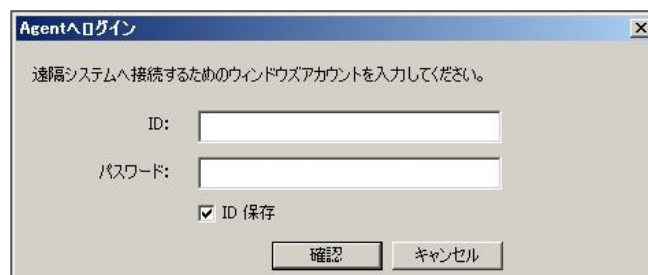
2段階認証を行う必要があります。
「Google Authenticator (Google認証システム)」アプリを実行し、
6桁のOTP情報を入力してください。

[OTP設定案内](#) [認証キーをメールで受信](#)

7.3.3 Windows Logon方式

Agent IDとパスワードの代わりにローカルPC上で認識されるWindowsアカウント情報を利用する方式です。

※パスワード設定がないWindowsアカウントはご利用できません。また、Windowsアカウントをしっかりと管理した上で、ご利用ください。



Agentログイン

遠隔システムへ接続するためのウィンドウズアカウントを入力してください。

ID:

パスワード:

ID 保存

7.4 遠隔地PC実行制限設定 (Windows) OPTION 機能

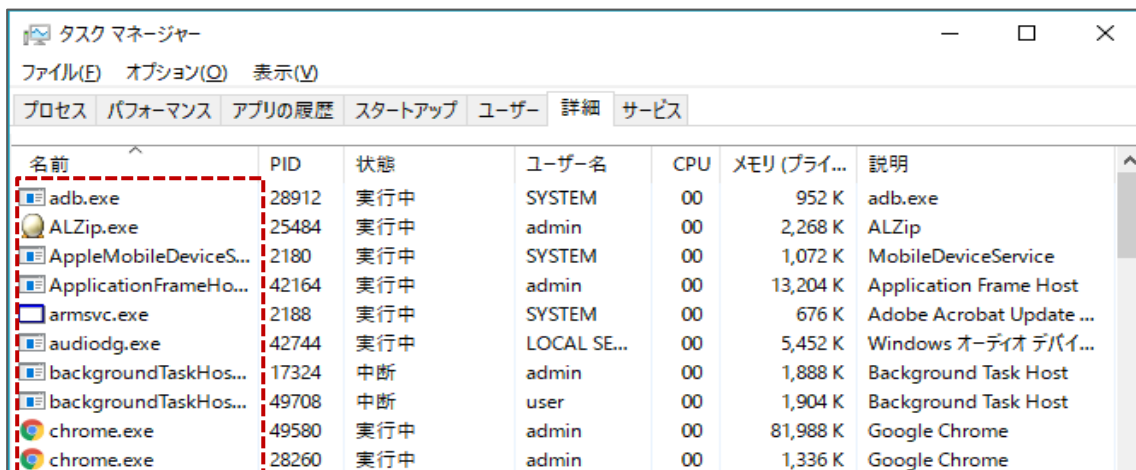
遠隔地PCのプロセスとサービスの実行を制限することができます。

- ① 「環境設定」 → 「共通・セキュリティ設定」を選択します。
- ② 「遠隔地PCプロセス実行制限設定」及び「遠隔地PCサービス停止/再開設定」から目的に合った制限方法を「全体使用」として設定します。

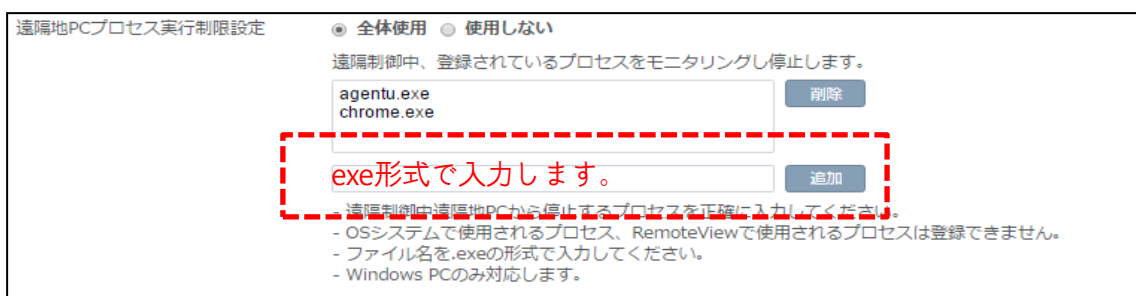


7.4.1 遠隔地PCプロセス実行制限設定

※プロセスとは、exe形式でのプログラム実行単位です。



- ① 全体使用を選択し、登録するプロセスを入力して下さい。
- ② 画面の下の「適用」ボタンをクリックします。



※RemoteViewではexe方式のファイルが動作している場合、AgentへのアクセスWeb認証時に終了

し、その後登録されたプロセスを5秒毎にモニタリング・終了します。

※制限対象プロセスは最大20個まで登録可能です。

※macOSはプロセス形式が異なるため制限できません。

※ファイル形式、ファイル名が異なる場合、制限できません。

※終了されたプロセスは、RemoteView終了後も復元することはできません。

プロセスを再度立ち上げるためには、個別にローカルPCで起動させるか、RemoteViewの「制御ツール」→「プロセス実行」操作を行って下さい。

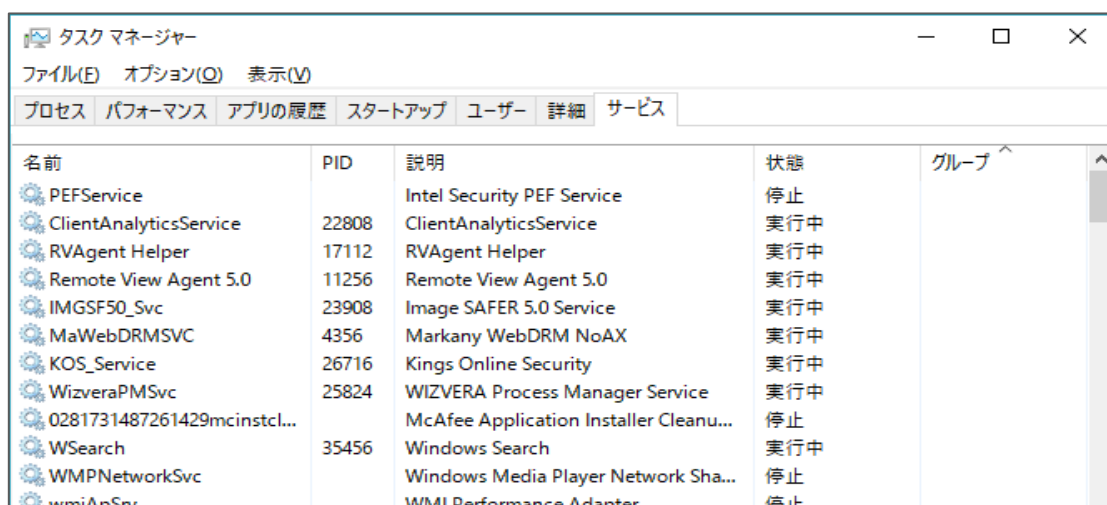
③ プロセスの終了はWindowsのタスクマネージャーから確認できます。



名前	PID	状態	ユーザー名	CPU	メモリ (プライ...	説明
adb.exe	28912	実行中	SYSTEM	00	952 K	adb.exe
ALZip.exe	25484	実行中	admin	00	2,268 K	ALZip
AppleMobileDeviceS...	2180	実行中	SYSTEM	00	1,072 K	MobileDeviceService
ApplicationFrameHo...	42164	実行中	admin	00	13,204 K	Application Frame Host
armsvc.exe	2188	実行中	SYSTEM	00	676 K	Adobe Acrobat Update ...
audiodg.exe	42744	実行中	LOCAL SE...	00	5,452 K	Windows オーディオ デバイ...
backgroundTaskHos...	17324	中断	admin	00	1,888 K	Background Task Host
backgroundTaskHos...	49708	中断	user	00	1,904 K	Background Task Host
chrome.exe	49580	実行中	admin	00	81,988 K	Google Chrome
chrome.exe	28260	実行中	admin	00	1,336 K	Google Chrome

7.4.2 遠隔地PCのサービス停止/再開設定

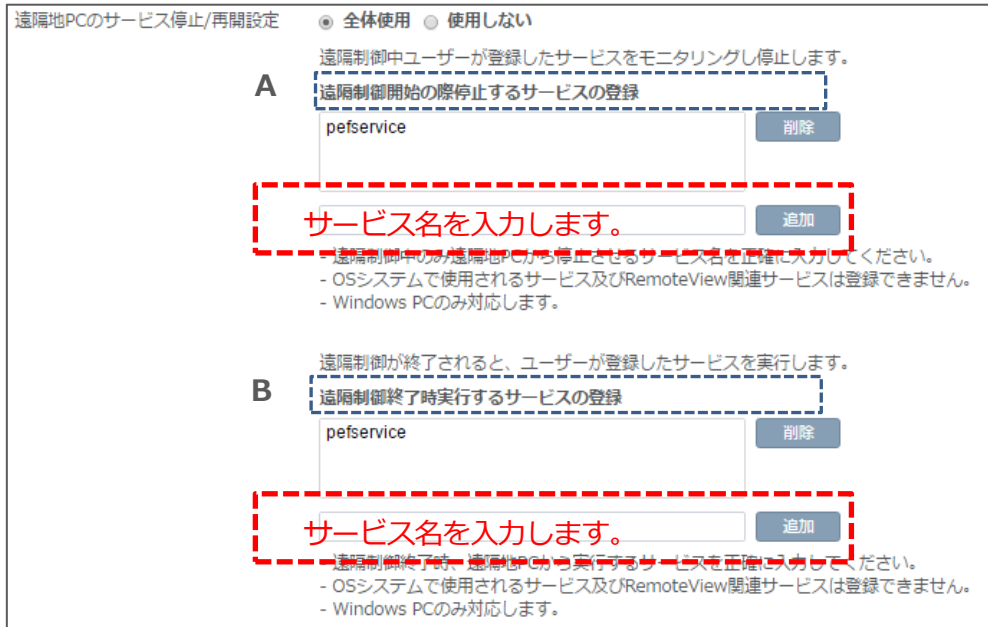
※サービスとは、Microsoft Windows オペレーティングシステム (OS) で長時間動作し、ユーザーとのやりとり無しで特定機能を実行するものです。



名前	PID	説明	状態	グループ
PEFService		Intel Security PEF Service	停止	
ClientAnalyticsService	22808	ClientAnalyticsService	実行中	
RVAgent Helper	17112	RVAgent Helper	実行中	
Remote View Agent 5.0	11256	Remote View Agent 5.0	実行中	
IMG5F50_Svc	23908	Image SAFER 5.0 Service	実行中	
MaWebDRMSVC	4356	Markany WebDRM NoAX	実行中	
KOS_Service	26716	Kings Online Security	実行中	
WizveraPMSvc	25824	WIZVERA Process Manager Service	実行中	
0281731487261429mcinstcl...		McAfee Application Installer Cleanu...	停止	
WSearch	35456	Windows Search	実行中	
WMPNetworkSvc		Windows Media Player Network Sha...	停止	
wmiApSvc		WMI Performance Adapter	停止	

① 全体使用を選択し、登録するサービスを入力して下さい。

- A. 遠隔制御開始の際停止するサービスの登録
- B. 隔制御終了後、実行するサービスの登録



② 画面の下の「適用」ボタンをクリックします。

※Windowsのシステム上に登録されているサービスを、AgentへのアクセスWeb認証時に停止し、その後登録されたサービスを5秒毎にモニタリング・終了します。

※制限対象サービスは最大20個まで登録可能です。

※macOSのサービスは形式が異なるため制限できません。

③ サービスの終了はWindowsのタスクマネージャーから確認できます。

名前	PID	説明	状態	グループ
PEFSvc		Intel Security PEF Service	停止	
ClientAnalyticsService	22808	ClientAnalyticsService	実行中	
RVAgent Helper	17112	RVAgent Helper	実行中	
Remote View Agent 5.0	11256	Remote View Agent 5.0	実行中	
IMG5F50_Svc	23908	Image SAFER 5.0 Service	実行中	
MaWebDRMSVC	4356	Markany WebDRM NoAX	実行中	
KOS_Service	26716	Kings Online Security	実行中	
WizveraPMSvc	25824	WIZVERA Process Manager Service	実行中	
0281731487261429mcinstcl...		McAfee Application Installer Cleanu...	停止	

8. その他

8.1 ユーザー権限

EnterpriseライセンスのASPは3種類の使用権限があり、各ユーザー権限によって使用できるメニューと機能が異なります。

8.1.1 各権限別にできること

権限	説明
管理者	全メニューと機能が利用可能で、すべてのグループ、PC、ユーザーに対する権限割り当てやライセンス管理をすることができます。
マネージャー	管理者の次の権限として、管理者から割り当てられたグループに対して管理者同様、ユーザーに対して権限の割り当てや管理をすることができます。 組織管理を利用の場合、ユーザーグループ担当、非担当で捜査範囲が異なります。 詳細は次のページの表を参照ください。 OPTION 機能
ユーザー	管理権限はなく、管理者またはマネージャーから割り当てられた権限によって遠隔操作などの機能が使用できます。

8.1.2 ユーザー別操作権限

ユーザー別のウェブページと遠隔操作の際の操作権限は別途与えられます。

遠隔操作の際の権限は、管理者からAgentを割り当てられる際に付与された権限設定によって異なります。

マネージャーの遠隔操作権限は、管理者から割り当てられた設定によって異なります。

- **グループ** : 管理者と同じ権限
- **Agent** : 一般ユーザーと同じ権限

詳細は次のページの表をご参照ください。

※ユーザーグループに関する詳細は別紙「[組織管理利用時のユーザー別操作権限](#)」参照

● ウェブページ

ウェブページ		権限	管理者	マネージャー	ユーザー
パソコンリスト	グループ追加		○	×	×
	PC追加		○	○	○
	お気に入り		○	○	○
	移動		○	○	×
	削除		○	○	×
	登録情報		○	○	○
	Excelファイルで エクスポート		○	○	○
	インストール ファイル生成		○	×	×
	WOL PC追加		○	○	○
ライブビュー	お気に入り		○	○	○
	移動		○	○	○
	削除		○	○	○
	ズーム		○	○	○
	登録情報		○	○	○
ユーザー管理	マネージャー追加		○	×	×
	ユーザー追加		○	○	×
	お気に入り		○	○	×
	移動		○	○	×
	ユーザー権限割当		○	○	×
	削除		○	○	×
	登録情報		○	○	×
	Excelファイルで エクスポート		○	○	×
組織管理	マネージャー追加		○	×	×
	ユーザー追加		○	○	×
	ユーザーグループ追加		○	○	×

		移動	○	○	×
		削除	○	○	×
		登録情報	○	○	×
使用状況		チャート	○	○	○
		記録	○	○	○
		システム	○	○	○
環境 設定	共通情報	基本情報管理	○	×	×
		共通・セキュリティ設定	○	×	×
	個別情報	アカウント設定	○	○	○
		個人オプション設定	○	○	○
	ログイン 管理	最終ログイン	○	×	×
		ログイン失敗	○	×	×
	ライセンス 情報	ライセンス詳細	○	×	×
		オンライン購入履歴	○	×	×
	製品情報	RemoteView情報	○	○	○
ダウンロード		○	○	○	

● 遠隔操作

		権限	管理者	マネージャー		一般ユーザー
				グループ 管理	遠隔操作	遠隔操作
遠隔操作						
接続確認			○	○	○	○
遠隔制御			○	○	○	○
遠隔エクスプローラ			○	○	○	○
WOLで電源起動			○	○	○	○
制御	システム 終了	ログオフ	○	○	○	○
		システム終了	○	○	○	○
		システム再起動	○	○	○	○
ツール	システム情報		○	○	○	○
	画面キャプチャー		○	○	○	○
	プロセス実行		○	○	○	○

	プロセスリスト	○	○	○	○
	サービス再開始	○	○	○	○
	Agentアップデート	○	○	○	○
	メール招待	○	○	○	○
お気に入り		○	○	○	○
移動		○	○	×	×
削除		○	○	×	×
接続アカウントの変更		○	○	×	×

8.2 遠隔プリンターを使用する（macOS非対応）

遠隔操作中、遠隔地PCにあるファイルをローカルPCに繋がっているプリンターで印刷する際に使用します。遠隔地PCに仮想プリンタードライバーをインストールし、印刷情報を受信後、印刷します。

※遠隔プリンターはWindows OS環境のみで利用可能な機能で、Webブラウザからアクセスした場合はWindowsユーザー権限がadministratorの場合ご利用いただけます。

8.2.1 遠隔プリンターをインストールする

- Agent インストール時に同時インストール

Agentインストール時、デフォルト設定として遠隔プリンターがインストール項目にチェックが入り、インストールが実行されます。

- 遠隔制御時に遠隔地 PC からインストール

遠隔プリンターがインストールされていない、または削除して再インストールする場合は、遠隔地PCの接続案内ウィンドウ内にある「遠隔プリンターインストール」メニューをクリックし、インストールすることができます。

- ① 遠隔制御中、遠隔地PC画面に表示される接続案内ウィンドウ内の「遠隔プリンターインストール」メニューをクリックします。



※インストール時、インストールを確認するウィンドウが表示される場合があります。「インストール」をクリックします。



② 遠隔プリンターがインストールされ、印刷することができます。



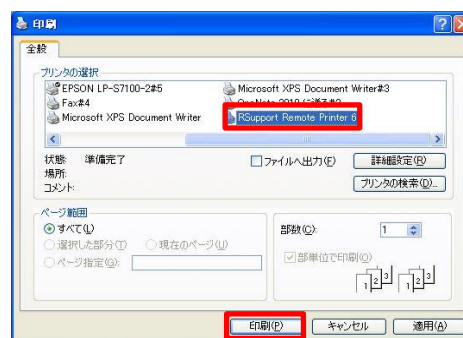
8.2.2 遠隔プリンターで印刷する

インストールされた遠隔プリンタードライバーを利用し、遠隔地PCのファイルをローカルPCに繋がっているプリンターから印刷することができます。

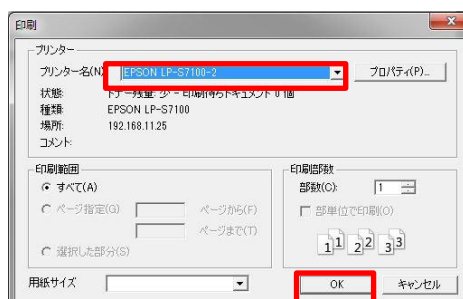
① 遠隔地PCに遠隔接続後、印刷するファイルを遠隔地PCから開き、印刷を実行します。



② 遠隔地PCに印刷画面が表示されたら、プリンタの選択で「Rsupport Remote Printer 6」を選択し、「印刷」をクリックします。



③ ローカルPCにも印刷画面が表示されたら、手元のPCに設定されているプリンターから1つを選択し、「印刷 (OK)」をクリックします。
選択したプリンターで印刷が実行されます。





接続元のブラウザがInternet Explorerの場合、「インターネットオプション」の「セキュリティ設定」で「保護モードを有効にする」のオプションにチェックされていると接続元の印刷が発生しません。

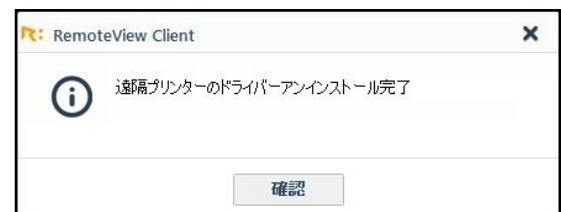
8.2.3 遠隔プリンターを削除する

既にインストールされている遠隔プリンターを削除します。

- ① 遠隔制御中、遠隔地PC画面に表示される接続案内ウィンドウ内の「遠隔プリンター削除」メニューをクリックします。



- ② 遠隔プリンターが削除されたメッセージが表示されます。



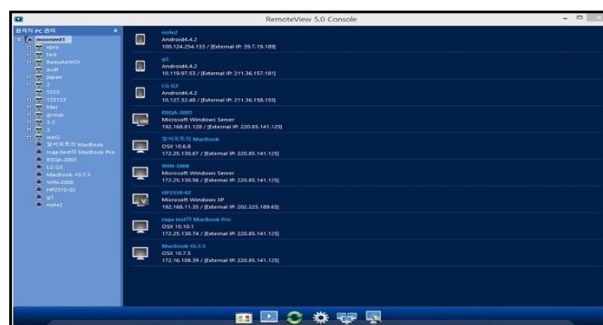
8.3 PCコンソールアプリケーションを利用してアクセスする

ウェブページを経由せず、コンソールアプリケーションを利用してRemoteViewアクセスすることができます。

- コンソールアプリケーションダウンロード先（環境設定 > ダウンロード）

URL : <https://content.rview.com/storage/jp/remoterview/software/rvconsole.exe>

※詳細は別紙「PCアプリケーションコンソールガイド」をご参考ください。



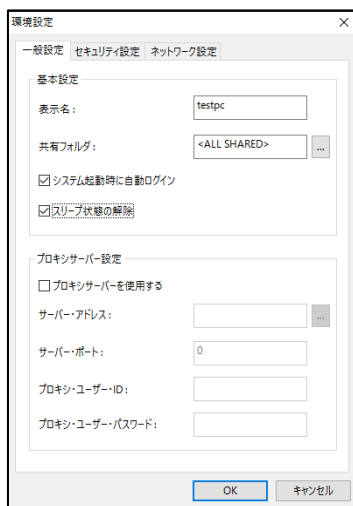
8.4 システムトレイの定義とAgentアイコン

Windowsのデスクトップ画面の右下の常駐ソフトの表示領域をシステムトレイといいます。

RemoteViewはシステム内に常駐していないと必要な時に接続できないので、システムトレイに常駐します。Agentを右クリックすると以下のメニューが現れます。

メニュー名	説明
About	RemoteViewのCopyright情報が表示されます。
Homepage	RemoteViewのホームページに遷移します。
環境設定	通信環境設定、セキュリティ設定等を行うことができます。
ログ表示	セッションサーバの接続情報、また、Agentに対して外部からのコマンドの情報を確認することができます。
ログイン	ログイン：サーバと接続を行い、遠隔接続ができる状態にします。
ログアウト	ログアウト：サーバとの接続を終了します。（遠隔接続ができなくなります。）
終了	Agentが終了され、トレイアイコンにあるAgentが見えなくなります。

※環境設定で設定する項目は以下通りです。



一般設定



セキュリティ設定



ネットワーク設定

メニュー名	詳細	デフォルト設定
一般設定	表示名	<p>パソコンリストに表示されるAgent名を変更する機能です。</p> <p>※入力条件：最大50文字まで入力できます。（英数字、日本語など）次の特殊文字(半角)は使用できません。</p> <p>¥ / : ? * < > " & % + ; ' </p>
	共有フォルダー	<p>遠隔エクスプローラの共有されるフォルダーを限定するために利用します。基本設定はすべてのフォルダーを共有するようになっています。</p>
	システム起動時に自動ログイン	<p>システム起動時Agentが自動ログインされます。</p> <p>チェックを外すとAgentは自動ログインをしません。</p>
	スリープ状態の解除	<p>スリープ状態では遠隔接続ができなくなります。本設定を有効にすることで、電源設定にかかわらずスリープ状態に入ることを回避することができます。</p>
	プロキシサーバ設定	<p>Agentでの通信をプロキシサーバ経由で行うとき設定します。</p> <p>Proxy環境が変更された場合、こちらから変更を行います。</p>
セキュリティ設定	Agentアクセスアカウント変更	<p>PCのオーナーがAgentID / パスワードを変更することができます。</p>
	遠隔接続元のMAC Adress登録	<p>該当MACアドレスを持つ端末のみ接続を許可します。</p> <p>※管理者アカウントの場合でも未登録ではアクセスできなくなります。</p>
ネットワーク設定	遠隔接続元のIP登録	<p>該当IPアドレスを個別登録し、登録されているIPのみ接続を許可します。</p> <p>※管理者アカウントの場合でも未登録ではアクセスできなくなります。</p>
	遠隔接続元のIPアドレス帯登録	<p>該当IPアドレスの範囲を指定し範囲内のIPを持つ場合接続を許可します。</p> <p>※管理者アカウントの場合でも未登録ではアクセスできなくなります。</p>

Help Desk

1次連絡先

このマニュアルの中でご不明な点や、上記のサイトに収録されていない質問については、ご購入先までご連絡ください。

2次緊急連絡先 - RSUPPORT株式会社

営業時間：平日10:00～17:00(土日祝日除く)

テクニカルサポート：03-6273-3872

お問い合わせ：support.jp@rsupport.com